



飛躍への挑戦！
高知県産業振興計画

変わろう・変えよう・産業と暮らし
第4期高知県産業振興計画

～ みんなが主役 高知の元気発進プロジェクト ～

《地域アクションプラン》(案)
物部川地域抜粋版

令和2年2月

高 知 県

2 物部川地域

(1) 地域の産業を取り巻く状況

物部川の流域に位置する当地域は、上流域では豊かな森林資源を活かした林業やユズ栽培、肥沃な下流域は県内最大の穀倉地帯であるとともに施設園芸が盛んです。また、高知龍馬空港や高知自動車道、JR土讃線、土佐くろしお鉄道ごめん・なはり線といった交通インフラが整備され、高知東部自動車道も順次整備が進められており、今後さらなる利便性の向上が期待されます。

農業分野では、平野部では稲作をはじめ、日本一の生産量を誇るニラやシシトウをはじめとした施設園芸が盛んで、山間部でも、ユズや温州ミカンの一大産地が形成されており、全国的なシェアを持つ多種多様な野菜、果樹等が生産されています。また、消費者ニーズに対応した環境保全型農業など特色ある取り組みも行われています。

林業分野では、地域の豊富な森林資源を活かすため、香美森林組合や物部森林組合、管内林業事業体が主体となり、森の工場の拡大に向けた施業地の集約や、原木の増産に向けた間伐の推進や作業道の開設等に取り組んでいるとともに、平成27年に開校した林業大学校と連携した担い手の確保や、高性能林業機械の導入等による生産性の向上に取り組んでいます。

水産業分野でも、高知県漁協手結支所が、地域の主要魚種であるシイラを活用した加工品づくりを進めており、衛生管理の向上や生産体制の強化とともに、県外の取引先との定期的な情報交換等を通じて、取引量の安定確保や販路拡大に取り組むことによって、漁業者の所得向上と地域雇用の創出につなげています。

工業分野では、充実した交通インフラのもと、早くから工業団地が整備され、各種多数の事業所や工場が集積しています。また、製造品出荷額は県内の3割近いシェアを占めるなど、特に製造業は県内でもトップクラスの集積地となっています。

商業分野では、小規模事業者が主体である地域の商店街での消費が低迷し、空き店舗が増加していることから、チャレンジショップを展開するとともに、民間事業者と連携しながら、地域が主体となって中心市街地の活性化計画の策定に取り組むなど、地域経済の活性化に向けた取り組みが進められています。

観光分野では、アンパンマンミュージアムやのいち動物公園、西島園芸団地などのファミリー向けスポットから、龍河洞や県立歴史民俗資料館、絵金蔵などの歴史スポットまで、幅広い層の集客が見込める施設が数多くあります。こうした資源を活かした体験型観光メニューの造成や観光情報の発信、地域連携による周遊促進を行うとともに、新たな観光拠点の整備に向けた検討など、地域の観光資源の磨き上げの取り組みを進めています。また、平成28年に発足した物部川DMO協議会が中心となり、恵まれた自然環境や豊富な歴史資源、おいしい食などの魅力あふれる観光資源を活かした、圏域ならではの広域観光の推進に取り組んでいます。

(2) 地域アクションプランの概要

当地域では、園芸基幹品目の振興や林業の素材生産の拡大、また水産加工や商工業の振興などに引き続き取り組むほか、食品加工などの6次産業化の推進、交流人口の拡大に向けた観光振興などに重点的に取り組み、地域の活性化、産業の振興を図ります。

農業分野では、園芸基幹品目をはじめとした農作物の品質の向上や次世代ハウスなどを活用した生産量の増大や省力化技術の推進、さらには消費地との連携を進め、ブランド力の強化や消費拡大に取り組めます。加えて、地域産業クラスタープランに位置付けられている日本一の産地である香南市、香美市のニラや還元野菜をはじめとした南国市の野菜を活用した6次産業化を推進するとともに、地産地消の推進に関し、学校給食及び業務筋への食材供給の拡大や直販所の体制整備、サービスの充実等による農産物の販売拡大に取り組めます。

林業分野では、森林所有者の所得向上のために森林の団地化を推進し、施業を集約するとともに、高性能林業機械の導入や効率的な作業道の開設により、搬出間伐の労働生産性の向上を図ることで、原木生産量の増産を目指します。

水産業分野では、主要魚種のシイラや養殖魚の加工品について、加工技術及び衛生管理の向上に取り組めます。

商工業分野のうち、伝統産業である土佐打刃物については、その魅力のPRや販路開拓等により販売拡大に取り組むとともに、技術や文化の継承を図るため、鍛冶職人の養成施設である「鍛冶屋創生塾」の運営を通じて、後継者の育成に取り組めます。

また、商工会と連携して、商店街の活性化に向けた計画の策定から実行までの支援を行うとともに、チャレンジショップの運営やイベントの開催などへの支援や、地域資源を活用した商品開発に取り組むグループへの支援を行います。さらに、(株)海洋堂による(仮称)「ものづくりサポートセンター」の開設を契機に、南国市と連携した中心市街地活性化の取り組みを進めます。

観光分野では、既存の観光施設とともに、地域にある自然や歴史などの観光資源を有効に活用した体験型観光プログラムの開発や磨き上げ、情報発信、周遊促進の取り組みに加え、龍河洞をはじめとする観光拠点の活性化に向けて取り組むなど、より魅力ある観光地づくりを進めていきます。

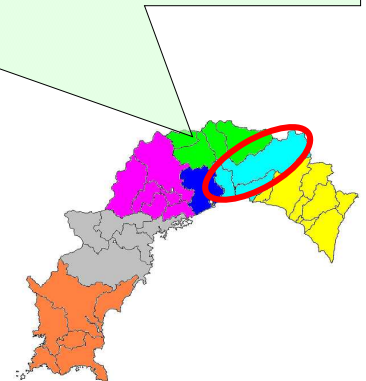
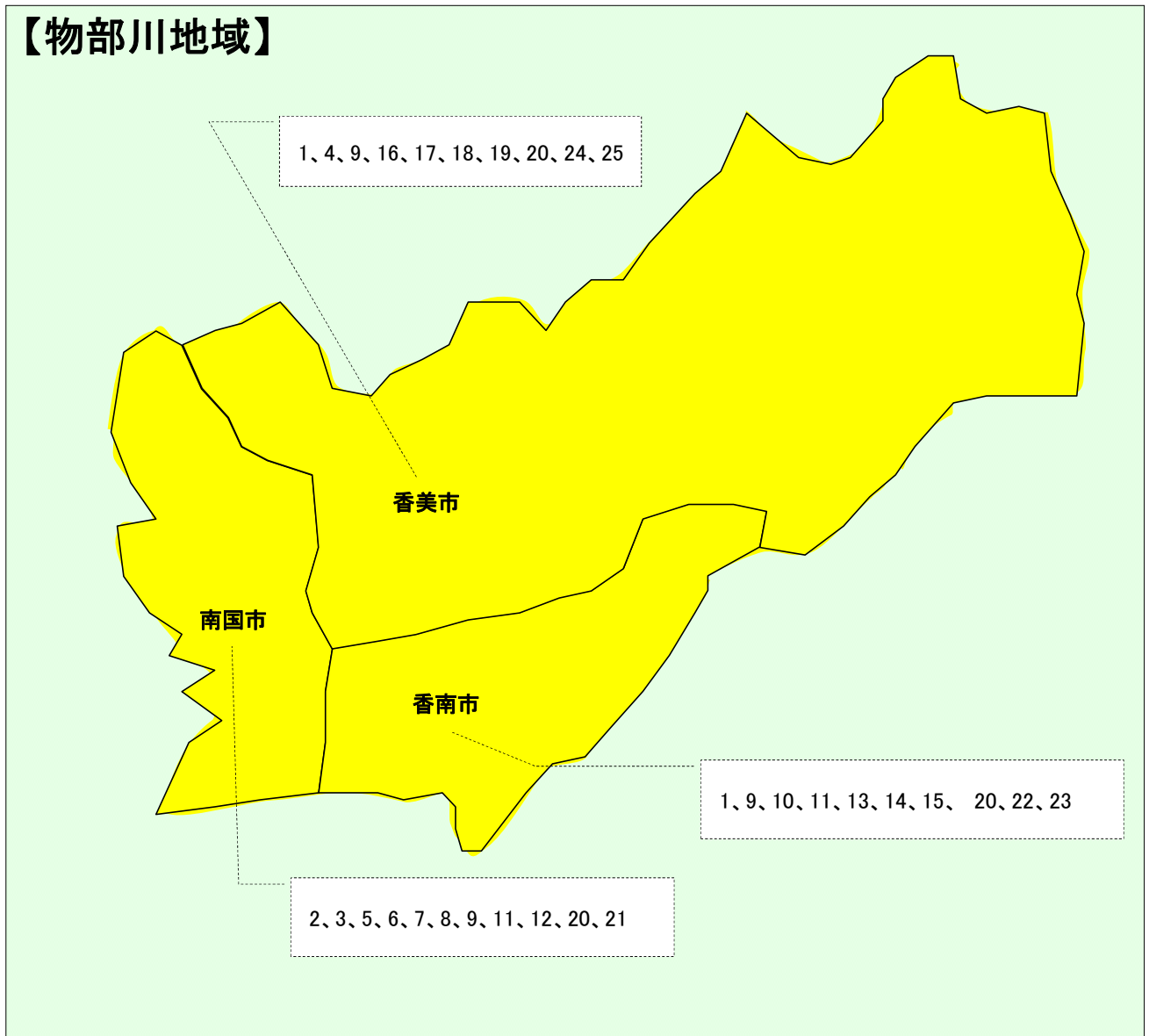
特に、龍河洞においては、民間事業者や地域住民、行政機関が連携して協議会を設立し、活性化計画の策定や整備事業を行い、観光拠点の整備に加え、周辺エリアの活性化に向けた取り組みを行っています。

また、広域観光の推進においては、物部川DMO協議会を中心に、地域内の観光事業者が一体となって、観光商品の開発や磨き上げに取り組むとともに、物部川地域の魅力を集めた企画イベントの開催など、流域をPRする新たな取り組みをバージョンアップさせながら、物部川地域全体の交流人口の拡大に取り組めます。

(3) 具体的な取組

No.	項目	南国市	香南市	香美市
1	日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト		●	●
2	南国市農業生産拡大プロジェクト	●		
3	南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化	●		
4	香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策			●
5	「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上	●		
6	南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大	●		
7	「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み	●		
8	ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業	●		
9	物部川地域の民有林における原木の増産	●	●	●
10	シイラ等の水産物加工による外商の拡大		●	
11	高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進	●	●	
12	ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化	●		
13	ヤ・シイパークを核とする地域の活性化の推進		●	
14	香南市における特産品づくりと販売の促進		●	
15	野市町中心商店街の振興		●	
16	香美市における特産品づくりと販売の促進			●
17	香美市の伝統産業(土佐打刃物、フラフ)の振興			●
18	土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化			●
19	香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売			●
20	物部川地域における広域観光の推進	●	●	●
21	南国市の地域資源を活用した観光の推進	●		
22	香南市におけるスポーツ・体験型観光等の取り組みの推進		●	
23	三宝山エリアにおける観光拠点化の推進		●	
24	香美市における滞在型・体験型観光の推進			●
25	龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進			●

【物部川地域】



AP名 (実施地域)	No.1 日本一のニラ産地拡大クラスタープロジェクト (香南市、香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連
実施主体	◎JA高知県(香美地区)、◎JA高知県(香美地区ニラ部会)、◎(一社)香南市観光協会、◎(一社)香美市観光協会、香南市、香美市、シミス・アグリプラス(株)
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	日本一の生産量を誇るJA高知県香美地区のニラの生産拡大に向けた産地ビジョンの実現に向け、「既存農家の経営安定」、「規模拡大志向農家の支援」、「新規就農者、品目転換農家の支援」の3つのプロジェクトを推進し、生産拡大を実現する。また、集出荷体制の高度化や加工業務需要への対応強化、新たな企業の誘致、地元飲食店での新メニュー開発、機能性の検証等を行い、ニラの消費拡大につなげ産地強化への取り組みを進める。

指標	出発点	実績				目標
		R2	R3	R4	R5	
(1) ニラ販売額 (JA入金額)	23.3億円 (R園芸年度)					29.7億円 (R5園芸年度)
(2) ニラメニューの売上	81.8万円 (H30)					170万円 (R5)

※園芸年度：前年8月～7月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園芸用ハウス整備 (H28～R元) ・調製作業機(そぐり機)導入支援 (H28～R元) ・グリーンカレッジ(新規就農者勉強会)の開催 (H28～R元) ・新規就農者育成支援 (H28～R元) ・そぐりセンター整備計画策定、そぐり機の新規導入 (R元) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳 (H28～R元) ・出荷場GAP点検実施 (H28～R元) ・地元小学校での出前授業・栽培体験(野市小学校、佐古小学校) (H29～H30) <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントでのニラ料理の出店(香南市：H30年度12回) ・「香南カーニバル」でのニラメニューの提供 (H29、H30) ・ニラ塩焼きそばPRパンフレットのリニューアル (R元) <p><主な成果></p> <p>◆生産上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書の策定・提示：2提案(香南市・香美市) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニラ農家の新規就農者：13名 <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な農産物生産への生産者の意識向上 ⇒「エコシステム栽培」登録、こうち環境・安全・安心点検シート実施、生産履歴記帳：全戸、出荷場GAP点検実施 <p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市小学校での出前授業・栽培体験による市内認知度の向上及び子ども食堂、高齢者施設へのニラ提供 ・香南市イベント(香南カーニバル等)へのニラ料理出店による市内認知度の向上 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量・品質の向上及び省力化技術等の導入拡大 ・生産規模の拡大、担い手の確保育成 ・出荷調整作業等の労働力確保 ・ハウスや集出荷場等施設の高度化 ・香南市、香美市が連携したニラ認知度の向上及び消費拡大施策の実施(観光協会との連携) ・ニラを核とした町おこしプランの策定(プレーヤー不在)

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
<p>◆生産上の対策</p>	<p>生産拡大対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（香美地区ニラ部会）： <ul style="list-style-type: none"> 環境制御技術の導入拡大や基本的栽培管理技術の徹底等による収量・品質の向上 園芸ハウス整備事業等を活用した規模拡大 そぐり機の活用等による省力化 担い手の確保と育成のための新規就農者受入れ体制の整備・強化と就農支援 ● 県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 省力化技術の普及啓発、増収・品質向上技術の検討と導入支援 農地の流動化やハウス整備への支援 新規就農者の確保・研修・経営開始への支援と体制強化 部会活動活性化への助言等 <p>そぐりセンターの効率的稼働、新規増設計画検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ● シミズ・アグリプラス(株)：そぐりセンターの運営 ● J A 高知県（香美地区）：そぐりセンターの運営への協力・支援、そぐりセンター増設の検討 ● 県（中央東農業振興センター等）：そぐりセンターへの支援（稼働計画策定、増設検討） 				
<p>◆流通、販売上の対策</p>	<p>集出荷作業効率化に向けた集出荷場の高度化再編整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の高度化計画の策定と整備 ● 県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 整備計画の策定と補助事業への支援 <p>高度な集出荷体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J A 高知県（香美地区）： <ul style="list-style-type: none"> 集出荷場の効率的稼働・運営 ● 県（中央東農業振興センター等）： <ul style="list-style-type: none"> 事業計画実施への支援 				
<p>◆消費拡大、認知度向上の対策</p>	<p>香南市、香美市が連携した、ニラを核とするまちおこしプランの検討・策定・具体的な取り組みの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 香南市、香美市（観光協会）： <ul style="list-style-type: none"> 地元飲食店等との連携によるメニューの拡大や新たな加工品の開発及び既存加工品の販売拡大 地元飲食店等との連携によるニラを活用した地域イベントの充実 ● 県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新たな需要拡大のための支援策の情報提供 				
<p>【用語】・そぐりセンター：ニラの収穫後、出荷のために実施する、そぐり（不要な外葉の除去）や計量、結束の調製作業を生産者から受託する施設。</p>					

AP名 (実施地域)	No.2 南国市農業生産拡大プロジェクト (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA 高知県 (土長地区) 、◎JA 高知県出資農業生産法人(株)南国スタイル、新規設立農業法人、(株)トリムエレクトロニックマシナリー
AP への 位置づけ	H21.4 月
事業概要	南国市の主要農作物 (シシトウ、ニラ、ピーマン類) 及び還元水素水を活用した野菜「還元野菜」の産地の維持・拡大のため、新規設立農業法人をはじめとする関係機関との協力により、コスト削減や品質改善、出荷課題の解決などに取り組み、生産・流通・販売上の課題を解決し、南国市の農業生産の拡大及び「南国野菜」「還元野菜」のブランド化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	R 元園芸年度	R2	R3	R4	R5	R5 園芸年度	
(1) シシトウ生産量	606t					710t	
(2) ニラ生産量	927t					970t	
(3) ピーマン類生産量 (ピーマン・パプリカ)	857t					1,030t	
(4) 還元野菜栽培 協力農家数	6 戸 (H27~累計)					7 戸 (累計)	

※園芸年度：前年 9 月～8 月

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 産地ビジョンの構築及び推進 (H29~) 労働力確保・省力化対策 (H29~) 新規就農者確保・育成対策、経営体強化対策 (H29~) 流通・販売上の対策 (H21~) <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 出荷調製施設の実証・整備及び生産事業に関する協議 <p>◆ピーマン類の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培・病害虫管理及び栽培計画策定支援 機能性の検証 (H25~) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 電解水素水を活用した試験栽培 (H23~) 高知大学等と連携した、機能性の証明に向けた取り組み (H27~) <p><主な成果></p> <p>◆シシトウの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 市販天敵を主体とした天敵導入率：90%以上 土着天敵タバコアスカメの導入農家：81 戸 	<ul style="list-style-type: none"> JA 高知県土長地区旧 3JA 合同生産者大会の開催等による、生産技術や販売促進に関する生産者間の交流の促進 <p>◆ニラの生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> JA における出荷調製施設の整備に向けた実証の継続 <p>◆ピーマン類の生産拡大 (H30~R 元.7 月末)</p> <ul style="list-style-type: none"> ピーマン：22.2t/10a (前年対比：154%) パプリカ：21.3t/10a (前年対比：109%) <p>◆「還元野菜」の生産拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力農家数 H27：3 戸 ⇒ H30：6 戸 (累計) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 新規就農者の確保 シシトウ産地の維持拡大、省力化技術の確立、経営体制の強化、GAP の取り組みの推進 ニラそぐりセンター設置へ向けた生産部会、JA の方向性決定 ピーマン類 (「還元野菜」含む) の生産体制の強化 「還元野菜」栽培協力農家の確保

4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆シトウの生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA 高知県（土長地区）：出荷調整作業省力化のための施設整備 ●南国市：研修用ハウス（サポートハウス）確保 				
◆ニラの生産拡大	ハウス整備に向けた計画作成・事業申請		運営開始		
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 規模拡大志向農家や新規就農者との生産委託や研修体制の充実 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 		
◆ピーマン類の生産拡大	調製作業省力化設備設置に向けた計画書作成・事業申請		運営開始		
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業、JA 高知県（土長地区）：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●生産者：規模拡大、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 ●JA 高知県（土長地区）、JA 園芸部ニラ部会：出荷調整作業施設の利用及び運営協力 		
◆還元野菜の生産拡大	園芸団地の整備による生産拡大・新規就農者の育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●生産者等：規模拡大、品目転換、新規就農者育成等による生産拡大 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策、担い手の育成 				
◆還元野菜の生産拡大	ハウス整備に向けた計画作成・事業申請		栽培開始		
	<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：計画作成・事業申請 ●県（中央東農業振興センター等）：事業申請等の計画作成支援 		<ul style="list-style-type: none"> ●参入企業：栽培技術の習得・技術向上による生産安定 ●JA 高知県（土長地区）、県（中央東農業振興センター等）：増収・品質向上対策の支援 		
◆還元野菜の生産拡大	市内既存農家や組織の生産維持・規模拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（土長地区）、(株)トリムエレクトリックマシナリー、県（中央東農業振興センター等）：(株)南国スタイル（パブリカ等）、西島園芸団地（メロン等）を中心に協力農家の拡大 				

AP名 (実施地域)	No.3 南国市野菜の地産地消・地産外商の拡大による地域農業の活性化 (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎JA 高知県土長地区出資農業生産法人 (株) 南国スタイル、◎南国市、JA 高知県 (土長地区)、(株) トリムエレクトリックマシナリー、(一社) 南国市観光協会、南国市内食品加工事業者
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	南国市産の野菜等、農産物の地元での消費拡大 (地産地消) 及び加工品の開発・販売 (地産外商) を進めることにより、南国市の農業をはじめとした地域産業の活性化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 「還元野菜」の売上	617万円					1,000万円	
(2) 学校給食における地元野菜の供給割合 (金額ベース)	26.3%					27%	
(3) 地域資源を活用した新商品数	13品目 (H28~R元累計)					12品目 (R2~5累計)	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「還元野菜」の販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市内直販所に「還元野菜」コーナーの設置 (2ヶ所) ・「還元野菜」の県外への販路拡大 (H30~) ・トリム顧客向け「還元野菜」セットの販売 (H30~) ・トリム製品販促素材としての「還元野菜」の活用 (H30~) <p>◆「南国野菜」の地元消費拡大 (地産地消)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内小学校へ給食用食材の配送 (H21~) ・市内業務筋への食材の定期配送 (H21~) ・農家レストラン「まほろば畑」のオープン (H22~) ・農家レストラン「あぐり食堂ほっと」のオープン (H31~) <p>◆「南国野菜」を使った加工品の開発・販売 (地産外商)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特産品づくりのための市単独補助金の創設 (H24~) ・かざぐるま市における食品加工施設の整備 (H30) ・道の駅風良里で新商品開発ワークショップの実施 (H30~) <p>◆観光との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」を活用した農業体験モニターツアーの実施 (R元.6月) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆「還元野菜」の売上内訳 (H30) ・トリムユーザー向け「還元野菜」セット：169万円 ・トリム製品販促用「還元野菜」：236万円 ・市内直販所「還元野菜コーナー」売上：212万円 ◆市内学校給食における地元野菜の供給金額：715万円 (H30) ◆市内業務筋への定期配送 H27：21事業所 ⇒ H30：30事業所 ◆農家レストラン「まほろば畑」の累計来店者数：58,508人 (H22~H30) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「還元野菜」のブランド化の確立 ・特産品づくりに取り組むプレイヤー、外商に取り組む事業者の育成 ・既存商品の磨き上げ、新たな加工品の開発 ・地産地消を進めるための戦略的な取り組み

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆「還元野菜」の 販路拡大	<p>トリムユーザー向け「還元野菜」の活用・販売等（トリムユーザーへのPR、販売を強化）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)トリムエレクトリックマシナリー： トリムユーザー向けに「還元野菜」のPR、販売 ●協力農家（(株)南国スタイル、西島園芸団地含む）： 還元野菜の生産・販売 ●県（地域本部等）： 必要に応じ、関係機関や農家への橋渡し 				
◆「南国野菜」の 地元消費拡大 （地産地消）	<p>学校給食・業務筋への食材供給体制の整備及び供給拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)南国スタイル： 地域食材の配送業務の拡大、供給体制の整備 ●南国市： 学校給食での活用拡大、市内事業者等との橋渡し、事業者間の連携強化 ●県（地域本部等）： 関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介、事業者間の連携強化 				
◆「南国野菜」を 使った加工品の開 発・販売（地産外 商）	<p>加工品の開発、販売と外商の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●市内加工事業者： 野菜をはじめとした南国市産の農産物を使った加工品の開発・販売 ●南国市： 補助金の交付により、新商品開発に取り組む事業者や、外商活動を支援、事業者間の連携強化 ●県（地域本部等）： 外商活動、商品の磨き上げや、外商に取り組む事業者のレベルアップのため、関係機関への橋渡し、 商談会・相談会・セミナー等の紹介、事業者間の連携強化 				
◆観光との連携	<p>観光との連携（「還元野菜」の里めぐりツアー等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)南国スタイル、(株)トリムエレクトリックマシナリー： 農業体験ツアーの実施に向けた観光事業者との連携・協力 ●県（地域本部）： 必要に応じ、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】・還元野菜：整水器を使って生成される「電解水素水」を使って栽培した野菜</p>					

AP名 (実施地域)	No.4 香美市における「物部ゆず」の総合的な産地強化対策 (香美市)
実施主体	◎JA 高知県 (香美地区物部柚子生産部会)、JA 高知県 (香美地区)、香美市、農地中間管理機構 (高知県農業公社)、NPO 法人いなかみ
AP への位置づけ	H21.4 月
事業概要	日本一の青果ユズ生産量を誇る「物部ゆず」産地の維持に向け、「新規就農者、認定農業者等担い手の確保・育成」、「集出荷場の整備・作業効率の向上」、「園地の整備、流動化及び機械化・新技術導入による生産向上」を推進する。

指標	出発点	実績					目標
	※ 1	R2	R3	R4	R5	※ 2	
(1) ユズ販売金額 (JA 入金額)	4.9 億円					5.0 億円	
(2) 青果ユズ出荷量	745t					750t	

※ 1 : H28~R 元園芸年度の平均値
 ※ 2 : R2~R5 園芸年度の平均値
 (園芸年度: 前年 9 月~8 月)

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の整備 (H28~) ・新規就農者の育成支援 (H28~) ・認定農業者の確保・育成 (H28~) ・I ターンによる就農希望者への住宅情報の提供 (H30~) <p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者ニーズに応じた青果の安定的な供給体制の確立 (H28~) ・多様な販売ルートの確保に向けた取り組み (H28~) ・「まるぶつユズ」のブランド力の強化 (H30~) <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振興系統および品種への支援 (H28~) ・機械化による生産性向上 (H28~) ・園地の確保及び流動化の推進 (H30~) <p><主な成果></p> <p>◆担い手対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産地提案書の提示、指導農業士 4 名の認定 (計 5 名) ・ユズの新規就農者: 8 名 (H28~) ・認定農業者の確保: 新規及び再認定 13 名 	<p>◆流通、販売上の対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青果出荷量の安定供給: 807t (H30) ・卸売市場を通じたシンガポールへの輸出開始 (H30~) ・地理的表示保護制度への申請 (H31.4 月) <p>◆生産向上対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業による園地の確保・流動化: 7 件 (H30~R 元) ※見込みを含む ・振興系統および品種の栽培面積の普及: 134ha (H30) (普及率 92.5%) ・スピードスプレー (薬剤噴霧器) の導入: 1 件 (H30) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修生受入体制の強化 (情報発信等) ・住環境の提供による移住での新規就農者の確保 ・新規就農者の就農計画の策定及び技術習得 ・担い手の営農計画の策定 ・冬至玉の出荷予測精度の向上 ・集出荷場の整備及び作業効率の向上 ・剪定・防除等の基本技術の徹底、計画的な新改植等による青果ユズの確保 ・園地の整備・流動化・機械化の推進による生産基盤強化

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆担い手対策	<p>担い手の確保・育成、受入体制の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物産部柚子生産部会）： 研修生受入体制の整備・強化と就農支援、産地提案書の見直し、指導農業者の確保 担い手の各事業計画（就農計画・経営改善計画・資金借受計画等）の策定 ●香美市：新規就農者の確保・育成のための各事業・施策による支援、認定農業者の確保・育成への支援 ●NPO 法人いなかみ：産地の情報発信、空き家等の住宅情報の提供 ●県（中央東農業振興センター等）：研修生の受入体制への助言、担い手の各事業計画の策定支援等 				
◆流通、販売上の対策	<p>冬至玉の出荷予測精度の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物産部柚子生産部会）：予想出荷量と市場要請量との調整、予測精度の向上 ●県（果樹試験場・中央東農業振興センター等）：AI 等を活用した出荷予測精度向上への支援 <p>集出荷場の整備・作業効率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区）：集出荷場の整備計画の策定及び作業行程等の見直し ●県（中央東農業振興センター等）：整備計画の策定及び補助事業への支援 				
◆生産向上対策	<p>青果生産量の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物産部柚子部会）： 部会活動（講習会、現地検討会、の活性化、産地間交流の推進 ●県（中央東農業振興センター、果樹試験場等）： 部会活動への支援、産地間交流支援 優良系統・品種、新技術に関する情報提供 <p>園地の整備・流動化・機械化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●JA 高知県（香美地区物産部柚子生産部会）：意向調査に基づく園地情報の提供及びマッチング ●香美市：園地整備・機械化に関する事業支援、農地情報提供 ●農地中間管理機構：担い手への園地集積のための農地情報提供 ●県（農業振興センター等）：マッチングへの支援、園地整備・機械化に係る事業支援 				
<p>【用語】・青果ユズ：果実への傷、生理障害、病気が少ない良質のユズ。「酢玉」以外の出荷品。物産部柚子生産部会の規格では「青玉」、「カラーリング玉」、「黄玉平箱」、「冬至玉」、「貯蔵玉」、「小袋包装」が該当する。H30の実績で青果率は62%。</p>					

AP 名 (実施地域)	No.5 「なの市」等の売上拡大による農家所得の向上 (南国市)
実施主体	◎(株)なの工房、◎畑の食堂 Copan、JA 高知県 (土長地区長岡支所)
AP への 位置づけ	H24.4 月
事業概要	旧直販所「あけぼの市」を国道 195 号通称「あけぼの街道」沿いに移転拡充した「なの市」、平成 30 年にオープンした「畑の食堂 Copan」で、地域農産物の販売や地域資源を活用した加工品の開発・販売及び飲食物の提供を行い、地域農業者の所得向上を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
直販所等の売上高	1 億 2,857 万円					1 億 3,740 万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆直販所・飲食店の移転・拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道 195 号沿いへの直販所・飲食店の移転・拡充・オープン (H25～26) ⇒H25 産振補助金の活用 (事業費 1 億 359 万円) ・売上目標達成に向けた商品構成の見直しやイベントを企画開催 <p>◆組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み</p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)なの工房としてカフェを廃止 (「なのカフェ」の閉店) ⇒雇用数の整理及び直販所事業に専念 (H29. 1 月) ・経営改善に向けた産振アドバイザーの導入 (H29～H30) ・経営力向上会議の定例開催 (月 1 回) による、経営状況の把握及び経営改善計画の進捗管理 (H30) ・チーフ会の定例開催 (月 1 回) による、経営状況の把握及び経営改善に向けた取り組みの確認・徹底 (R 元) <p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「畑の食堂 Copan」オープン (H30. 7 月) <p>◆来客増に向けた取り組み</p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元果物を使った新商品の販売開始 (H28) 	<p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントへの出店 (H30～) ・テイクアウトコーナーの新設 (R 元.5 月) ・六次産業化セミナーに参加し、野菜を使用した新メニューの開発、提供開始 (R 元.12 月～) <p><主な成果></p> <p>◆なの市利益率 H27 : △2.3% ⇒ H30 : 3.6%</p> <p><課題></p> <p>【(株)なの工房】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出荷品目の充実 ・経営の安定化 <p>【畑の食堂 Copan】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来客数の増 (特にモーニング、13 時以降のランチ客の増) ・新メニュー、テイクアウト商品の開発 ・加工品の開発と販路開拓

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆組織体制や運営方法の改善による経費削減と売上増に向けた取り組み	<p>日別の目標売上額の設定と予実管理による経営の安定化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)なの工房： <p>財務分析による経費削減（会計士と相談しながら日別の目標売上額を設定したうえでの継続的な管理）</p> ●県（地域本部等）： <p>経営の改善に向け、必要な助言を得るため、関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介</p> 				
	<p>◆来客増に向けた取り組み</p> <p>新規出荷者の確保・出荷品目の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)なの工房： <p>生産者会議での呼びかけ、店舗へのチラシの掲示、生産者への売上データの送付、呼びかけ</p> ●JA 高知県（長岡支所）： <p>生産者への呼びかけ</p> ●県（地域本部等）： <p>関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介</p> <p>新商品・新メニューの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ●畑の食堂 Copan： <p>季節の農産物を使った新メニュー、テイクアウト商品の開発（新規及びリピート客の確保）</p> ●県（地域本部等）： <p>新メニュー、新商品開発を促進するため、関係機関への橋渡し、セミナー等の紹介</p> <p>集客に向けたプロモーションの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●畑の食堂 Copan： <p>SNS への日替わりメニューやピュッフェメニューの写真の掲載等による情報発信</p> <p>市内外のイベントへの積極的な出店</p> 				
<p>【用語】 ・SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

分野	農業
----	----

AP名 (実施地域)	No.6 南国市の農園レストランによる地域食材の消費拡大 (南国市)
実施主体	◎ (株) ナイフアンドフォークカンパニー (農園レストラン トリトン)
APへの位置づけ	H26.4月
事業概要	地域の農家所得の向上を図るため、地元食材をフル活用したオリジナル料理を堪能できるレストランとベーカリーを運営し、地元食材の消費を拡大するとともに新たな魅力を発信する。

指標	出発点	実績					目標
	R元(※)	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 売上高	1億7,357万円					2億50万円	
(2) 食材の地産地消費率(県内)	85%					85%	

※H30.10月～R元.9月までの実績値

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランとベーカリーの整備、オープン (H27.10月) ⇒H26 産振補助金の活用 (事業費 1億2,390万円) ・庭園に龍馬像を設置 (H29.3月) ・庭園にロンドンバスを設置 (H29.7月) ・庭園に遊具 (すべり台3台) 設置 (H30.5月) <p>◆レストランとベーカリーの運営及び情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南国市内の生産者 (南国スタイル等) からの食材仕入 (H27～) ・地元食材を使ったメニュー開発・提供 (随時) ・ロンドンバスを活用したイベントの開催 (H30.10月～随時) ・おびさんマルシェへの出店 (H30.11月～随時) ・蔦屋書店への出店 (H31.3月) ・各種広報媒体への掲載 (随時) <p><主な成果></p> <p>◆地域食材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食材の地産地消費率のうち、南国市産の割合：45.3% (H30.10月～R元.9月) ・米、野菜、ヤギミルク、牛乳をはじめとした南国市産食材を使ったメニューの提供 (H27～) 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元食材を活用した新メニューの開発 ・安定した顧客の獲得 ・生産者との連携強化による南国市産食材のさらなる利用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆レストランとベーカリーの運営及び情報発信	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">地元食材を活用したメニューの開発、提供</div>				
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ナイフアンドフォークカンパニー： 地元食材を活用した日替わりメニューの開発、提供 月替わりで地元食材を中心とした季節の農産物等を使ったパンの販売 ●県（地域本部等）： 新メニューや新商品の開発を促進するため、必要に応じて関係機関、生産者、生産者団体への橋渡し </div>				
	<div style="background-color: #4a86e8; color: white; padding: 5px; text-align: center;">メディア等による PR 活動、来客数増加のための取り組み</div>				
	<div style="border: 1px dashed gray; padding: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)ナイフアンドフォークカンパニー： 来客増につなげるため、引き続き自社媒体や、旅雑誌、ローカル誌への情報提供、売り込み </div>				

AP名 (実施地域)	No.7 「ごめんケンカシャモ」のブランド化の取り組み (南国市) ※地域産業クラスター関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎企業組合ごめんシャモ研究会、南国市商工会、南国市
APへの 位置づけ	H23.4月
事業概要	<p>坂本龍馬の逸話を生かした「シャモ鍋」等の新たなメニューを創出し、イベントでの販売や加工品販売により、県内外に向けてご当地グルメとして情報発信を行う。</p> <p>また、ごめんケンカシャモの飼育・安定供給体制を整備し、トレーサビリティの確立等による高付加価値化を図ることで、ブランド鶏肉としての外商戦略を展開していく。</p> <p>これらの生産から販売までの過程を通して、ごめんケンカシャモを知ってもらい、南国市を訪れてもらう『地産「来」消』の仕組みの確立を図る。</p>

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 売上高	5,178 万円					6,000 万円	
(2) 飼育羽数	2,341 羽					3,000 羽	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆ごめんケンカシャモの安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業組合としての活動開始 (H24～) ・直営鶏舎の整備、飼育開始 (H24～) ・貯卵・孵卵設備を高知農業高校に整備 (H26.1月) →H25年度 産振補助金の活用 (事業費 418 万円) ・飼育マニュアルの作成 (H27) ・ものづくり補助金を活用して、食鳥加工センターの整備 (H29.8月) ・衛生管理の強化に向け、県版 HACCP 第2ステージの認証取得 (H31.4月) <p>◆加工品開発及びご当地グルメとしての確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごめんシャモ鍋社中 (市内提供店舗) の取り組み (H22～) ・加工品 (シャモ鍋セット) の開発 (H23.8月) →H23年度 産振補助金 (ステップアップ事業) の活用 (事業費 202.4 万円) ・直営のシャモ料理専門店「軍鶏伝」の運営 (H27～) ・地元小学校と連携したブランド化の取り組み (H30.5月) ・市内外へのイベント出店：17回 (H30) 	<p>◆組織の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定例会の開催 (毎月) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ごめんケンカシャモ提供店舗数 (市内) H26：19店舗 → H30：20店舗 ◆貯卵から販売までの課程を一括管理出来る体制の構築 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆生産体制の強化 ◆組織の強化

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ごめんケンカシ ヤモの安定供給体 制の確立	生産体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 飼育データの収集・蓄積による年間生産計画の確立と飼育体制の強化 地元高校等、教育機関と連携した飼育の実施 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
◆加工品開発及 びご当地グルメと しての確立	加工品開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 前年度の取り組みの検証、新たな加工品の開発 生産量・品質の維持管理及び県版 HACCP 第3ステージ認証取得による衛生管理の向上、高付加価値化 ●県（地域本部等）：セミナー、商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	ご当地グルメとしての確立				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： イベントを通じたPR活動、軍鶏伝、マスメディア等を活用した情報発信 「シャモ鍋社中」加盟飲食店によるシャモ料理提供、同志（加盟店）の増加に向けた活動 商談会参加等による都市圏外食産業への販売セールス、ネット販売等の外商チャンネルの活用 ギフトやふるさと納税を活用した販路開拓、販売促進 ●南国市：ふるさと納税返礼品による商品のPR、イベント等の紹介 ●県（地域本部等）：イベントの紹介、関係者への橋渡し 				
◆組織の強化	経営力の向上				
	<ul style="list-style-type: none"> ●企業組合ごめんシャモ研究会： 組織の方向性の明確化（専属職員の配置を検討） 部門別（営業、経理、加工等）の人材育成 資金管理による経営強化 ●南国市商工会： 経営強化へのアドバイス 				
<p>【用語】 HACCP：「Hazard Analysis and Critical Control Point」の略。日本語では、「危害分析重要管理点」と訳されており、「ハザップ」と呼ばれている。製造における重要な工程を系統的に関し・記録することによって、一つひとつの製品の安全性を確保しようとする食品の衛生管理手法のこと</p>					

AP名 (実施地域)	No.8 ヤギミルクの生産体制強化及び流通促進事業 (南国市)
実施主体	◎川添ヤギ牧場
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	流通の少ない、ヤギミルク及びヤギ肉の安定供給を図るため、生産体制を強化するとともに、飲料・原料としての商品づくりのほか、県内事業者との連携による新たな加工品の開発により高付加価値化を図り、ヤギミルクを中心とした外商戦略を展開していく。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
売上高 (ヤギミルク、ヤギ肉)	591万円						4,380万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新畜舎の整備 (H29.4月) ・搾乳・飼料生産機械の導入 (H29.4月) ・高知県ヤギ飼料生産組合を設立 (H28.4月) ・人材の育成 (H28～) ・産業振興アドバイザーの導入によるヤギの飼育体制の改善・強化 (H30、R元) <p>◆販路開拓及び加工品の開発・販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤギ肉試食会の開催、ヤギ肉の販売開始 (H28) ・ひまわり乳業(株)と連携し、飲料ヤギミルクの販売開始 (H28.4月) ・県外商談会への出展 (H30～アグリフード EXPO など) ・新商品の開発に向けて、県内事業者を巻き込んだ検討会を実施 (R元) ・TV・新聞を活用した効果的なPRによる販路を拡大 ・積極的な新規雇用による運営体制の強化 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ヤギミルク (飲用) の販売額の増加 H28 : 143万円 → H30 : 369万円 ◆雇用の創出 H27 : 2人 (正規2人) → R元 : 9人 (正規5人、パート4人) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産体制の強化 ・経営の安定化 (経営状況の分析、事業計画の見直し、人材育成) ・ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大に応じた販路の拡大

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ヤギミルク・ヤギ肉の安定供給体制の確立	生産体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ飼育頭数の増加、ヤギミルク・ヤギ肉生産量の拡大 飼育データの収集・蓄積、高知大学等との共同研究による品質向上 搾乳量に応じた事業計画の見直し ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	組織体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 事業拡大にあわせた組織体制づくり（新規雇用、飼育人材の育成等） 経営の安定化に向けた取り組みの実施（経営状況の分析・改善、事業計画の精査・見直し等） ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	県外へ向けた販売促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ひまわり乳業(株)と連携したヤギミルクの販売、販路開拓 ヤギ肉試食会の開催、商談会への参加等によるヤギ肉の販路開拓 メディア、HP、フェイスブックを活用した情報発信 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
	新商品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： 生産量増加に伴う新たな商品（加工品）の検討、新たなOEM商品の実現 ●県（地域本部等）： 新商品開発の支援制度に関する情報提供、セミナー等の紹介、関係者への橋渡し 				
◆販路開拓及び加工品の開発・販売	プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●川添ヤギ牧場： ヤギ産業化の取り組みやひまわり乳業(株)と連携したヤギミルク商品等の情報発信 ●県（地域本部等）： 高知県地産外商公社への橋渡し 				

AP名 (実施地域)	No.9 物部川地域の民有林における原木の増産 (物部川地域全域)
実施主体	◎香美森林組合、◎物部森林組合、◎林業事業者等
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	物部川地域の民有林において事業地の拡大と生産性の向上を図り、原木の増産に取り組むことにより、森林所有者の所得向上と山林地域の振興に資する。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
原木生産量 (民有林のみ)	50,678m ³						56,880m ³

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆地元説明会の開催及び補助事業等の情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> 管内市及び事業者に対する事業説明会及び勉強会開催 (H21～) 市広報への間伐 PR 記事掲載 森林組合による境界明確化事業実施 航空レーザー測量成果を活用した森林情報データの活用方法の検討 (香美市) <p>◆生産性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 原木増産推進事業の活用による基盤整備 (H28～) 高性能林業機械の導入：5台 (H28～30) 作業道整備：42,653m (H28～30) <p>◆担い手の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 森の工場でのOJT (緑の雇用) の実施 (H28～) 林業大学校卒業生の採用 (H29～) <p><主な成果></p> <p>◆原木生産量</p> <p>H26：35,887m³ ⇒ H30：50,678m³</p> <p>◆香美森林組合における労働生産性の向上</p> <p>皆伐 (H29) 5.9m³/人日 ⇒ (H30) 6.2m³</p> <p>間伐 (H29) 3.7m³/人日 ⇒ (H30) 3.8m³</p> <p>◆管内森林組合及び林業事業者への林業大学校卒業生の採用：7名 (H29～R元)</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 素材生産量の確保に向けた、物部川地域内における事業地の確保 素材生産の効率化に向けた、高性能機械導入等による産性向上のさらなる推進 林業大学校との連携などによる、次世代を担う林業従事者の確保

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆事業地の拡大	森の工場の維持、拡大 <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業体： 森の工場の継続、新規森の工場の拡大 				
	森林経営管理制度を通じた事業地の拡大 <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業体： 森林管理制度による事業地の拡大 				
◆生産性の向上	生産性の高い作業システムの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業体： 架線系から車両系へ、より生産性の高い作業システムへの転換を促進 路網整備の促進及び新たな作業システムの検討 ●県（中央東林業事務所等）： 高性能林業機械の導入、作業路網の整備等に対する支援（補助金等） 				
◆担い手の確保	担い手の確保 <ul style="list-style-type: none"> ●森林組合、事業体： 事業管理を担当する職員の確保、プランニング等のスキル向上 即戦力として林業大学校卒業生の積極的な雇用 ●県（中央東林業事務所等）： 森林施業プランナーの研修に対する支援 				

AP名 (実施地域)	No.10 シイラ等の水産物加工による外商の拡大 (香南市)
実施主体	◎高知県漁業協同組合手結支所、香南市、(一社)香南市観光協会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	高知県漁協手結支所がシイラや養殖魚等の水産物の加工を推進し、県内外への販路を拡大することによって、浜値の向上と付加価値の増を通じて、漁業者の所得向上を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H28~30 平均	R2	R3	R4	R5	R5	
水産品の販売額	4,939 万円					5,400 万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆販売事業の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁協の入札参加 (H21~) →漁協自身が手結市場のセリに参入したことにより、買受業者間の競争が活気づくとともに、大漁時の価格の底支えにつながり、浜値の平均単価向上につながった <p>◆販売形態の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工施設の整備 →(国)強い水産業づくり交付金を活用して、漁具倉庫を共同作業場に改修 (H21) →(県)漁業生産基盤維持向上事業を活用して、施設の衛生管理向上対策を実施 (H23) ・高知県食品高度衛生管理手法認定を取得 (H26) ・ヘッドカッターの導入 (H28) →シイラの加工において作業員不足や高齢化による作業効率の低下が改善されたことで、取扱可能量が増大し生産体制が強化された。 ・鮮魚、冷凍、加工品の販売で販路拡大 →鮮魚や冷凍品は、県外の飲食チェーンや県内の商社等の大口取引先へ販路が拡大し、加工品は県内の流通業者や学校給食等へ販路が拡大した。 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆漁協加工事業の販売額拡大 H21 : 351.2 万円 → H30 : 6,328.1 万円 (H30 は例年以上にシイラが豊漁であった) ◆漁協の浜値の底支えによる平均単価の向上 H21 : 138 円 → H30 : 179 円 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な相場に左右されにくい産地相場力の強化 ・販売額の向上と安定化に向けた取引先との関係強化 ・地元における認知度向上 ・産地仲買人の減少による市場の不活化 ・人材確保 (漁協職員) と出荷体制の堅持

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆販売事業の拡大	<p>販路の維持・拡大に向けた営業活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所： <ul style="list-style-type: none"> 地元や近隣市の学校給食への販売を維持 県内外の取引先との取引の継続 新たな販路開拓のための営業活動 ●県（中央漁業指導所 等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 等 				
◆販売形態の拡充	<p>一次加工による商品ラインナップ拡充対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ●高知県漁協手結支所： <ul style="list-style-type: none"> 営業先からの要望に細やかに対応できる体制づくり 自動真空包装機の導入による商品拡充（ロイン等） ブライン凍結機による冷凍品の品質向上、処理能力向上による取扱量の増加 ●県（中央漁業指導所 等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 等 				
◆認知度の向上	<p>地元におけるPR体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ●香南市観光協会、香南市 等： <ul style="list-style-type: none"> シイラを用いた新商品を地元においてPRする体制づくり 水産関係者と他分野の事業者とのマッチング ●県（中央漁業指導所 等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 等 <p>知名度向上に向けた情報発信（プロモーション活動）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●香南市観光協会、香南市 等： <ul style="list-style-type: none"> PR情報の発信（飲食店紹介パンフレット、動画公開等） 地元イベント等でのPR機会の創出 ●県（中央漁業指導所 等）： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 等 				
<p>【用語】ロイン：魚の切り身の一つの形態。3枚に下ろした半身を半分縦に切った状態のもので「四つ割り」とも呼ばれる。</p> <p>ブライン凍結機：アルコールや高濃度の塩化カルウム溶液など融点の低い性質を持つ液体（不凍液（ブライン））を用いて、食品等を凍結させる機械のこと。通常の冷凍方法よりも冷却速度が速く、急速に凍結させることができるため、品質を保ちやすい。</p>					

AP名 (実施地域)	No.11 高知県産ワインの生産拡大及びブランド化の推進 (南国市、香南市)
実施主体	◎井上ワイナリー(株)、井上石灰工業(株)、南国市、香南市
APへの位置づけ	H30.9月
事業概要	ブドウ栽培からワインの醸造・販売までの一貫した体制の構築に向け、ブドウの栽培面積の拡大や醸造施設の建設、人材の育成等に取り組むとともに、県内各地の遊休農地でのブドウ栽培の実現と、高知県の食材とのコラボレーションやPR活動を行い、県内産ワインとしてのブランドを確立し、県内にワイン文化を醸成し、土佐ワインバレー構想の実現を目指す。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
売上高	1,057万円					5,912万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆栽培面積の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 井上石灰工業(株)の新事業としてワイン用ブドウの栽培を開始(H25) ワイン造りの専門家をコンサルタントに迎え、県内での栽培技術を習得(H25~) <p>◆醸造・生産体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ワインの製造、販売を目的に井上ワイナリー(株)を設立(H28) 産業振興アドバイザーによる、ワイン醸造施設の建設に向けたアドバイスの実施(H30) ワイン醸造のノウハウ習得のための研修の実施(H30) →産振補助金(ステップアップ)の活用 事業費:400.2万円 <p>◆ブランドの確立</p> <ul style="list-style-type: none"> 個人会員制を採用し、県産ワインファンへの直接販売 会員数:515名(R元) 県内外の有名料理店及びホテル、食材にこだわる飲食店への卸販売の実施 <p>◆他の事業者との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍可洞での熟成保管の実施(R元.6月~) 梶原町との連携協定の締結(R元) 	<p><主な成果></p> <p>◆圃場の拡大(12反:R元.12月末現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> H25:稲生第1圃場 1反 H25/26:山北第1圃場 1反 H28:手結圃場 1反 H29:稲生第2圃場 2.5反 H30:山北第2圃場 1反 R元:山北第2圃場 2反、山北第3圃場 2反、山北第4圃場 1.5反 ※R3:梶原町 4反(予定) <p>◆ブドウ生産量</p> <ul style="list-style-type: none"> H27:870kg ⇒ R元:3,952kg <p>◆商品売上</p> <ul style="list-style-type: none"> ワイン販売 H28:302.3万円 ⇒ H30:1,057万円 グロサリー商品:商品開発中 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> さらなる圃場の確保によるブドウの栽培収量の増大 県内での栽培から出荷までの一貫した生産体制の構築 高度な醸造技術を習得した人材の育成

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆栽培面積の拡大	<p>圃場の確保、収量の増大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上石灰工業(株)：遊休地の活用、県内各地の集落活動センターとの連携、自社圃場の拡大 ●香南市：遊休地情報の提供、インターン制度への支援 ●県（地域本部等）：集落活動センターとの橋渡し支援、その他各種支援制度に関する情報提供 				
◆醸造・生産体制の確立	<p>醸造施設の建設</p> <p>自社醸造の開始と醸造施設の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：建設スケジュールの管理、醸造免許の取得、醸造準備 ●香南市：産業振興推進総合補助金活用による支援 ●県（地域本部等）：産業振興推進総合補助金活用による支援 <p>醸造施設の安定的な運用 高度な醸造技術を習得した人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：醸造施設の安定的な運用 高度な醸造技術を習得した人材の育成 <p>高度な醸造技術を習得した人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：社員の醸造研修への派遣、ブドウ栽培～出荷まで、すべての工程を担える社員の育成 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
◆ブランドの確立	<p>高知県産ワインとしての認知度向上と個人顧客の獲得</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：空港での広告（通年）、PRイベントの実施、新酒発表会の開催 ●南国市、香南市：市内でのPRイベント開催補助、ふるさと納税商品への採用 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
◆他の事業者との連携	<p>グロサリー商品の開発と販路の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ●井上ワイナリー(株)：地元食材を取り扱う事業者と連携した、様々なグロサリー商品の開発及び販売 ●香南市：各種支援制度に関する情報提供 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供 				
<p>【用語】・グロサリー：中食主体の食料品・生活雑貨などを総称する言葉。生鮮食品は含まれない。</p>					

AP名 (実施地域)	No.12 ものづくりサポートセンターを核とする中心市街地の活性化 (南国市)
実施主体	◎南国市、◎南国市商工会、◎(株)海洋堂高知、(株)奇想天外、南国市中心市街地振興協議会
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	「ものづくり、ひとづくり、まちづくり」の拠点施設となるものづくりサポートセンターの整備を契機として、中心商店街がものづくりを志す人材が集うまちとなるよう、交流人口の拡大や商店街の活性化に資する取り組みを行う。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) エリア内の売上額	6億800万円					7億6,199万円	
(2) 新規出店数	0件					12件	
(3) 拠点施設の入場者数	0人					33,000人	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆中心市街地の賑わい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽トラ市の定期的開催 (H23～) ・高知農業高校アンテナショップの定期的な開催 (H25～) ・中心市街地活性化推進協議会の開催 (H27～30) ・「ごめんまち将来像プラン」の策定 (H27) ・中心市街地振興協議会の開催 (R元～) <p>◆各種イベントの開催や空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)海洋堂と南国市による連携協定の締結 (H28) ・海洋堂と連携したジオラマ教室や「みんなのモノづくり展」、「ナノコクフェスティバル」等のイベントの開催 (H28～) <p>◆拠点施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設整備に向けた定例会議の開催 (H29～) ・基本計画の策定 (H29) ・基本設計、実施設計の策定 (H30) ・中心市街地活性化協議会による南国市地域経済活性化計画の策定 (H30) ・R元 地域経済活性化拠点施設整備等事業費補助金の活用 (総事業費：12億7,426万円) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆施設整備 R元.8月着工 → R2.10月竣工 (予定) ◆中心市街地活性化に向けた住民参加型ワークショップの実施 (R元) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆日常的な賑わいを創出するために、地域住民と一体となった取り組みの実行 ◆ものづくりサポートセンターへの集客と、周辺地域と連携した地域活性化の推進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆ 中心市街地の賑わい創出	<p>中心市街地振興計画の策定・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： 中心市街地を周遊できる企画の策定 ● 南国市： 中心市街地振興協議会における計画の進捗管理 ● 県（地域本部等）： 計画の策定支援及び進捗等の情報共有、関係者への橋渡し 				
◆ 各種イベントの開催や空き店舗の活用等	<p>各種イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知、(株)奇想天外 施設のPRを兼ねたものづくりイベントの企画、実施 ● 南国市、南国市商工会： (株)海洋堂高知と連携したものづくりイベントの実施 ポケットパークにおける定期的なイベント開催 ● 南国市：地域おこし協力隊の採用 ● 県（地域本部等）：関係者への橋渡し <p>中心商店街における空き店舗の活用等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 南国市、南国市商工会： 空き店舗及び地域資源を生かしたイベントの実施、 新規出店者数増へつなげるため、チャレンジショップ事業の検討及び推進 空き店舗活用の支援策の充実 ● 県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 各種支援制度に関する情報提供、関係者への橋渡し 				
◆ 拠点施設の整備・運営	施設の整備	施設の運営			
	<ul style="list-style-type: none"> ● 南国市： 施設の設置・管理に係る手続き 施設運営の準備 ● 県（地域本部等） 各種支援制度に関する情報提供、 関係者への橋渡し 	<ul style="list-style-type: none"> ● (株)海洋堂高知：フィギュアの生産開始 ● 南国市： オープニングイベントや定期的なイベントの開催 施設への入込客数増に向けた取り組み 南国市地域経済活性化計画の進捗管理 ● 県（地域本部等） 施設運営状況等の情報共有、セミナー等の紹介、 関係者への橋渡し 			

AP名 (実施地域)	No.13 ヤ・シパークを核とする地域の活性化の推進 (香南市)
実施主体	◎(株)ヤ・シ、香南市
APへの位置づけ	H27.8月
事業概要	地域の自然や食材を生かした賑わいの拠点づくりを進めるため、ヤ・シパークを核にした仕組みづくりや体制づくりに官民一体となって取り組み、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績				目標
		R2	R3	R4	R5	R5
(1) 加工所兼店舗の売上	2,687万円 (H30)					5,587万円
(2) 「道の駅やす」入込数	28.6万人 (R元)					29.8万人

これまでの主な動き	
<p>【加工所兼店舗】</p> <p>＜これまでの取り組みの内容＞</p> <p>◆加工所兼店舗の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新設の加工所兼店舗「マナマナ」の整備（H27.12月） ⇒H27 産振補助金の活用（事業費6,026.2万円） ・(株)ヤ・シが高知県観光活性化ファンド投資先の(株)ものべみらいと経営指導・助言に関する業務委託契約を締結（H29.10月） ⇒人材派遣を受けて再建に着手（30年度より黒字転換） ・県版 HACCP 第2ステージの認証取得（R元年度見込み） <p>◆販路開拓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知県産品商談会への出展（H29～R元年） ・「食の大商談会（東京）」への出展（H29、R元年） <p>◆外販体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品産業総合支援事業費補助金を活用したPR強化 ・IT導入補助金を活用したHPの作成（H30） <p>＜主な成果＞</p> <p>◆加工所兼店舗の売上高の増加</p> <p>H27：0円 ⇒ H30：2,686.8万円</p> <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加工所兼店舗の売上アップ ・外商活動強化、経営改善 ・店舗の運営体制強化 	<p>【ヤ・シパーク全体】</p> <p>＜これまでの取り組みの内容＞</p> <p>◆活性化に向けた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤ・シパーク将来構想検討会（H29.11月～H30.3月） ⇒産業振興推進アドバイザーを活用し、『ヤ・シパーク将来構想』を策定（H30.3月） ・ヤ・シパーク活性化推進協議会（H30.4月～） ・(株)ものべみらいによる、ヤ・シパーク指定管理者(株)ヤ・シへの投融資と人材の派遣等による支援（H30.5月） <p>◆ヤ・シパークの再整備に向けた取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30 観光拠点等整備事業費補助金の活用 ①【市】ヤ・シパークグランドデザインの策定（H31.3月） ②【市】マリンスポーツの備品整備 ③【(株)ヤ・シ】グランピングの備品整備、イベント開催 <p>＜主な成果＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「道の駅やす」入込数 H27：29.7万人 ⇒ H30：29.7万人 ・キャンプの受入：4組（R元.4～5月） ・マリンスポーツ体験の受入：96人（R元.7～12月） <p>＜課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の合意形成の上でのパーク内整備方針の決定 ・サイクリングやマリンアクティビティなどとの連携による観光拠点化の推進

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆売上アップに向けた取り組みの強化	加工所兼店舗の売上増への取り組み				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (株) ヤ・シィ : <ul style="list-style-type: none"> ①【内部の体制強化】 店舗の運営体制の強化、新商品の開発、アイスバーの生産体制の強化、ミーティングの実施等 ②【店舗の周知】 イベントへの出店・出品、自主イベントの開催、情報発信 ③【外販の強化】 商談会への出展、外商活動の強化 ● 香南市 : 販売機会の増加のための「れんげいこうち」事業等の情報提供、店舗の運営の状況把握 ● 県（地域本部） : 新商品開発や店舗の経営改善のための産振アドバイザー制度の活用の提案 商談会やコンテスト等の情報提供・研修会の案内 販路開拓等の事業者の課題解決のための関係部署からの情報収集と伝達 				
◆ヤ・シィパークを核とした地域の活性化の取り組み	ヤ・シィパークの整備に向けた協議及び合意形成、整備の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ● (株) ヤ・シィ : 活性化協議会を通じた整備方針の検討及び意見反映 適切な維持管理の実施 観光拠点化に向けた運営体制の確立 ● 香南市 : 商業施設部分の振興やアクティビティについて、活性化協議会を通じた整備方針の検討 ● 県（地域本部、地域観光課、港湾・海岸課） : 活性化協議会を通じた整備方針の策定及び整備の検討 ヤ・シィパークの観光拠点化に向けた関係者間の合意形成 				

分野	商工業
----	-----

AP名 (実施地域)	No.14 香南市における特産品づくりと販売の促進 (香南市)
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市内の事業者、香南市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	香南市の地場産品を事業者が開発し、香南市のカタログ販売やネット販売、ふるさと納税の返礼品などの販路を活用し、香南市全体で販売活動を行い売り出すことで、香南市の知名度の向上や地域の農業者、商業者等の所得の向上を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
特産品の売上高	1億1,975万円						1億2,500万円

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆地場産品の開発、販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みかんプリンの商品化 (H28、西川地区集活センター) (高知県複合経営拠点支援事業費補助金を活用) ・山北みかんバターの商品化 (H29、JA 果樹女性部) (農山漁村振興交付金、香南市産業振興計画推進事業補助金を活用) ・新商品 (もなかジェラート) の開発 (H30、ドルチェかがみ) (香南市産業振興計画推進事業費補助金を活用) ・新事業者の開拓や複数事業者の商品を集めたコラボセット化、季節商品の開発によるカタログ、ネット販売及びふるさと納税返礼品の取扱品の増加 <p>◆地場産品のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香南市観光協会 地場産品販売促進部によるPR、販売促進 ⇒カタログ (香南市ギフトカタログ) による販売 (H22～) ネット (香南まるごと旨市) による販売 (H23～) ・ふるさと納税の広報の強化 ⇒「ふるさとチョイス」への掲載 (H26～) 楽天市場でのネット掲載 (H29～) 香南市ふるさと納税特設サイト「香南日和」の開設 (R元) 	<p><主な成果></p> <p>◆特産品の売上高</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ、ネットによる販売額 (香南市観光協会) H26 : 192万円 → H30 : 416万円 ・ふるさと納税返礼品買取額 (香南市) H26 : 646万円 → H30 : 1億1,559万円 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・カタログ、ネット、ふるさと納税返礼品用商品のさらなる増加 ⇒地場産品を活用した商品開発の促進 ・広報活動の強化 (販売機会の増加) ・商品販売体制の強化 ⇒事業者が注文を受ける体制づくり 事業者のHP から香南市ふるさと納税へのリンク等

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆地場製品の開発、販売促進	<p>◆地場製品の開発、販売促進</p> <p>新商品開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ●香南市内の事業者： <ul style="list-style-type: none"> 特に香南市産の原材料を使った新商品の開発 香南市内での加工・生産・販売 ●(一社)香南市観光協会： <ul style="list-style-type: none"> 会員の増加 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> コラボ商品や季節商品の企画によるふるさと応援寄付金返礼品の増加 商品企画・開発を支援するための市産振補助金の市内事業者への提案 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 新商品の試作品づくりに対する産業振興推進アドバイザーの活用提案 				
◆地場製品のPR	<p>◆地場製品のPR</p> <p>商品販売体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ●香南市内の事業者： <ul style="list-style-type: none"> 食品表示の適正表示 問い合わせ対応の強化 ネット販売・システム化の推進 ●(一社)香南市観光協会： <ul style="list-style-type: none"> 県内外のイベントでの特産品販売・カタログ等の配布 香南市内外でのフェア・大会等のギフト・景品としての詰合せギフトの活用促進 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 各種ふるさと納税サイトやPR冊子等を用いた情報発信 商品の販路拡大を支援するための市産振補助金の活用提案 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 外商を促進するための商談会の情報提供及び表示や衛生管理に関する研修の案内 販路開拓等に関する相談の受付・支援機関への情報提供 				

分野	商工業
----	-----

AP名 (実施地域)	No.15 野市町中心商店街の振興 (香南市)
実施主体	◎香南市、◎香南市商工会
APへの位置づけ	R2.4月(予定)
事業概要	香南市野市町の中心商店街において、補助金を活用した利用可能な空き店舗の改修等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、周辺の観光施設等と連携し、中心商店街を核とした地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
空き店舗等を活用した新規開店数	0件					8件 (累計)	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆空き店舗対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市空き店舗等対策事業費補助金の創設 (H28) ⇒空き店舗改修等に対する補助 活用実績：1件 (H28～R元累計) ・商工会等 HP への空き店舗物件情報の掲載 (H30) ・香南市空き店舗等対策事業費補助金要綱の改正 (R元) ⇒補助対象を商店街の活性化から商業活性化へと拡充 ・チャレンジショップ実現可能性の検討 (R元) <p>◆運営体制の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市産業振興計画における取り組みの位置付け (R元) 	<p><主な成果></p> <p>—</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗補助金の活用による創業の促進 ・空き店舗情報の把握と関係者間での共有 ・空き店舗情報の発信 (市内外への PR) ・新規創業希望者へのサポート体制の確立

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆空き店舗対策	空き店舗実態調査等の実施 ●香南市： 空き店舗実態調査の実施 空き店舗バンクの創設によるリスト化 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供等	空き店舗解消に向けた取り組みの推進			
				●香南市： 情報発信による周知 （空き店舗情報、事業承継支援等） 補助金による改修の促進 ●香南市商工会： 県・市との連携及び情報共有 空き店舗を活用した創業、事業承継に対する支援 ●県（商工労働部、地域本部等）： 支援制度についての情報提供、伴走支援等	
◆運営体制の確立	商店街等振興計画の策定 ●香南市： 中心商店街の中長期的な戦略の策定 ●香南市商工会： 計画策定への参画、意見反映等 ●県（商工労働部、地域本部等）： 計画策定に対する支援	商店街振興計画の推進			
				●香南市： 事業承継、人材ニーズの掘り起こし及び情報発信 振興計画を踏まえた補助事業の拡充の検討 空き店舗を活用した事務系企業誘致の促進 ●香南市商工会： 創業、事業承継希望者への伴走支援の実施 空き店舗情報等の積極的な情報発信 ●県（商工労働部、地域本部等）： 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 関係機関との橋渡し、情報提供、伴走支援等	

AP名 (実施地域)	No.16 香美市における特産品づくりと販売の促進 (香美市)
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市内の事業者、香美市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	地域資源を生かした加工品や地域産品、伝統工芸品などの香美市ブランド商品の開発及び磨き上げにより、香美市観光協会において行っているインターネット販売や香美市ふるさと納税返礼品としての取り扱いを増加させることにより、香美市のPRと共に事業者の所得向上、地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 特産品の売上高	6,380万円 (※)						7,600万円
(2) 取扱商品数	194品目						200品目

※取り扱い開始からH30年度までの平均値

これまでの主な動き	
<p>〈これまでの取り組みの内容〉</p> <p>◆特産品の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域雇用創造推進事業を活用し食品加工講座や鹿の活用講座を実施(H21~23・香美市地域雇用創造協議会) ・産振補助金(ステップアップ)、農業創造セミナー等を活用し、新商品開発(H24~R元・食品加工グループ) <p>◆販売促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域雇用創造推進事業を活用し特産品販売ホームページ「香美市のばざーる」開設及び特産品カタログ「香美の恵」作成(H21~H23・香美市地域雇用創造協議会) →(H24より香美市観光協会において特産品販売関連事業を継承) ・ふるさと納税謝礼品事業を開始(H26) ・特産品カタログ「香美の恵」を改訂(H27:香美市観光協会) ・各種商談会、地域イベントへの参加(H21~R元) <p>◆生産設備の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金(ステップアップ)を活用し、業務用冷凍庫及び冷蔵庫導入(H24:奥ものべじしばあんぜん会) ・集落の活カづくり支援事業を活用し、業務用脱気シーラー導入(H29:葎生の里) 	<p>〈主な成果〉</p> <p>◆特産品の売上額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品買取額:6,320万円(H26~30平均) ・「香美市のばざーる」販売額:60.1万円(H24~30平均) <p>◆取扱特産品数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香美市ふるさと納税 H26:6件 → H30:178件 ・香美市のばざーる H24:22件 → H30:16件 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットショッピングの利用者拡大、PR ・小規模事業者の経営改善(生産能力向上、後継者育成、事業継承、各種制度への対応、営業力強化) ・魅力ある商品の開発

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆特産品の開発	地域資源を活かした特産品の開発				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 地域産材を活用した新たな魅力ある特産品の開発、改良 ●県（地域本部等）： 新商品開発のための6次産業化セミナーの受講や産業振興アドバイザー及び食品ビジネスまるごと応援事業等各種補助事業の活用提案 香美市ものづくり会議（事務局：香美市）に委員として出席し物産川ブランドとして売り出せる特産品の発掘、商品化を推進 				
◆販売促進	販路の拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市観光協会： 各種イベントでの積極的な特産品販売、インターネット販売の紹介及び継続的な販売による売上の向上 ●市内事業者： 商談会や見本市への出展による販路拡大、イベント出展による商品PR及び売り上げ向上、新商品開発 ●県（地域本部等）： 新商品開発や商品磨き上げについて研修紹介や補助金活用支援。商談会やイベント出店支援 ●香美市： ふるさと納税返礼品としての取り扱いにより商品PR及び販売拡大支援 				
◆経営安定化・後継者育成	経営改善、製造販売体制の強化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 高知県版 HACCP の取得、食品表示の適正表示、事業計画書の作成、規模拡大の検討 ●県（地域本部等）： 各種講習等の紹介及び支援、事例紹介、商工会との連携支援、集落活動センターとの連携支援 衛生管理や食品表示等に関する各種セミナー受講提案 				
	人材育成、事業継承				
<ul style="list-style-type: none"> ●香美市内の事業者： 人材確保、後継者育成、事業継続方針の検討 ●県（地域本部等）： 移住促進・人材確保支援センターや求人ネットなどの活用など各署と連携し支援 					

AP名 (実施地域)	No.17 香美市の伝統産業（土佐打刃物、フラフ）の振興 (香美市)
実施主体	◎高知県土佐刃物連合協同組合、◎フラフ製造業者、香美市商工会、(一社)香美市観光協会、香美市
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	国指定伝統的工芸品である土佐打刃物及び高知県伝統的特産品であるフラフの後継者育成及び販路拡大を図るため、鍛冶屋創生塾による人材育成とともに、観光事業との連携やイベント開催、ネット販売などを強化する。

指標	出発点	実績					目標
	R元	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 創生塾入塾者	3名					9名 (R2~5 累計)	
(2) 新規就業者数	0名					4名 (R2~5 累計)	

これまでの主な動き	
<p>〈これまでの取り組みの内容〉</p> <p>◆人材育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的工芸品製造技術研修施設の検討委員会の開催 (H30：7回) ・香美市ものづくり会議における土佐打刃物、フラフ振興に関する協議 (H30：7回) ・後継者育成施設となる「鍛冶屋創生塾」の整備 (H30～R元) →H30 産振補助金 (ステップアップ・担い手) の活用 事業費：434.1万円 (ステップアップ) 5,199.4万円 (担い手) ・伝統的工芸品産業支援補助金 (国) 及び伝統的工芸品産業等後継者育成対策事業補助金を活用し研修開始 (R元.11月) ・鍛冶屋創生塾運営委員会の開催 (R元：3回) <p>◆伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税での取り扱い及び香美市観光協会ネットショップでの販売 (H24～) ・市役所庁舎をはじめ市内各所へのフラフの掲揚 (H29～) ・「フラフのある風景コンテスト」の開催及び受賞写真をポロシャツ化 (R元) ・観光客向け工場見学、フラフ染め体験の受け入れ (R元) 	<p>〈主な成果〉</p> <p>◆地場産業（土佐打刃物、フラフ）後継者数</p> <p>H28：0人 ⇒ H30：0人 鍛冶屋創生塾入塾者：3名 (R元)</p> <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鍛冶屋創生塾卒業後の職人育成体制の構築 ・継続した入塾者の確保 ・伝統的工芸品等の認知度向上

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆人材育成	鍛冶屋創生塾における人材育成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●鍛冶屋創生塾： SNSによる鍛冶屋創生塾の情報発信等による継続的な入塾者確保、人材育成及び業界への人材供給 ●県（地域本部等）： 鍛冶屋創生塾の運営補助金活用支援、求人ネットの活用等による入塾者募集支援、関係機関との連携支援 				
◆伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上	土佐打刃物・フラフの普及促進				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐刃物連合協同組合、フラフ製造業者、香美市観光協会、香美市商工会： 視察受け入れや教育機関・観光事業者との連携による、体験や見学による伝統産業の普及 ●香美市： 香美市ものづくり会議を主催し、伝統的工芸品等の振興及び普及促進について協議及び実行（市内各所でのフラフの掲揚等） ●県（地域本部等）： 香美市ものづくり会議への参画による土佐打刃物・フラフの普及等の諸課題について検討 				
◆人材育成	鍛冶屋創生塾卒業生の就業及び研鑽の場の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●鍛冶屋創生塾、土佐刃物連合協同組合、香美市、県（地域本部等）： 鍛冶屋創生塾での職人としての育成状況を踏まえ、鍛冶屋創生塾運営委員会において、研鑽の場の確保や就業及びさらなる育成体制を検討・構築 				
◆伝統的工芸品等の普及及び販売促進、認知度向上	土佐打刃物・フラフの新たな販路開拓				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐刃物連合協同組合、フラフ製造業者、香美市観光協会、香美市商工会： 販路開拓のため、新商品の開発やイベント等への出店、インターネットでの販売、PR・広報の強化 ●県（地域本部等）： 県内施設及びアンテナショップ等での販売取り次ぎ、商談会の紹介、関係機関への橋渡し 				
<p>【用語】 ・鍛冶屋創生塾：伝統的工芸品である土佐打刃物職人育成を担う2ヶ年生研修施設（令和元年11月開塾：産業振興総合補助金活用） ・フラフ：「旗」を意味するオランダ語・英語が語源と言われ、大漁旗をイメージしてできたもの。男児の健やかな成長を願って、端午の節句に鯉のぼりと並んで立てられる。男児誕生の祝いとして親戚から家紋や名前を入れたフラフを贈るのが慣わしである。</p>					

分野	商工業
----	-----

AP名 (実施地域)	No.18 土佐山田えびす商店街を中心とする地域の活性化 (香美市)
実施主体	◎えびす街協同組合、香美市商工会、香美市
APへの位置づけ	H26.9月
事業概要	香美市の中心商店街である土佐山田えびす商店街の情報交流拠点施設「ふらっと中町」の情報発信力を強化し、商店街内の空き店舗の活用等により、移住者による新規創業も含めた新たな店舗の開業を支援するとともに、商店街を含む地域の活性化を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
空き店舗を活用した新規開業数	3件					16件 (R2~5累計)	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆商店街を含む地域の活性化策の推進 ・ふらっと中町及び商店街等との連携強化 えびす商店街活性化検討委員会の開催 (H28: 9回 H29: 12回) ・チャレンジショップ運営委員会の開催 (H28: 9回 H29: 12回 H30: 11回 R元: 8回) ・ふらっと中町の集客に向けた各種イベントの開催 (H29: 1回 H30: 8回) ・空き店舗及びチャレンジショップを活用した開業支援 ・地域の頑張る人づくり事業費補助金の活用による研修の実施 (H28: 5回) ・チャレンジショップの機能充実 (飲食店区画開設) (H30) ・街づくり支援員による商店街内の空き店舗の実態調査の実施 (H27~) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆商店街を含む地域の活性化策の推進 ・ふらっと中町における年間集客者数 H29: 4,767人 ⇒ H30: 3,985人 ・ふらっと中町の運営における雇用の創出 (街づくり支援員の配置) (H27: 1名) ・チャレンジショップに関する問い合わせの増加 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・商店街の空き店舗の活用の促進 →空き店舗は所有者の住居を兼ねていることが多く、賃貸契約に至らない事例が多い。 ・空き店舗活用のための改修 (耐震化、水回り等) 費用負担 →開業者の負担が大きい。 ・ふらっと中町、チャレンジショップの集客数の増

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆商店街を含む地域の活性化策の推進	空き店舗調査の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市： <ul style="list-style-type: none"> 街づくり支援員による空き店舗調査の実施 開業希望やチャレンジショップ活用に関する問い合わせへの対応 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 空き店舗の情報収集 				
	「ふらっと中町チャレンジショップ」の運営				
	<ul style="list-style-type: none"> ●えびす街協同組合： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップを活用したチャレンジャーの開業支援 集客力のあるイベント開催によるPR SNSによる情報発信 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップへの運営補助による支援 運営に関するアドバイス ●香美市、県（商工労働部、地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> チャレンジショップ運営委員会への出席 商店街等振興計画推進事業費補助金による支援 				
	空き店舗を活用した新規開業支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●香美市： <ul style="list-style-type: none"> 街づくり支援員による空き店舗活用策の提案 耐震化および水回り等の改修費用に係る負担軽減策の検討 ●香美市商工会： <ul style="list-style-type: none"> 開業時のアドバイスの実施 				

AP名 (実施地域)	No.19 香美市における地域食材を活用したクラフトビールの製造・販売 (香美市)
実施主体	◎ (同) 高知カンパニーブルワリー、香美市商工会、香美市
APへの位置づけ	H30.9月
事業概要	高知県産の食材を活用したクラフトビールを開発し、生産規模の拡大及び安定的な稼働体制を確立するとともに、商工会や観光協会等と連携し、地元商店街のにぎわい創出を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
クラフトビールの売上高	1,805万円					4,100万円	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ココプラビジネスサポート（専門家派遣）を活用した開業準備（H29） ・産業振興アドバイザー制度を活用した生産工程の見直し（H30：2回） ・新商品開発に係る情報発信、製造機器の設置等 産業振興推進事業費補助金（ステップアップ） （H30：44.8万円） ・小規模事業者持続化補助金を活用した生産量拡大及び品質管理に係る設備導入（R元） <p>◆積極的な地産外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ「まるごと高知」での販売、レストラン「土佐のおきゃく」での提供（H30～） ・イベント「にほんのお酒」（大阪府）への出展（H30～） ・香美市ふるさと納税・返礼品に登録（H30～） <p>◆地元商店街のにぎわい創出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベント「えびす昭和横町」「刃物まつり」への出展 ・香美市内飲食店等での提供6店舗（H30～） ・香美市内量販店での販売4店舗（H30～） 	<p><主な成果></p> <p>◆生産体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率的、安定的な増産体制の確立に向けた計画の策定 ⇒雇用の創出1名（R元.5月～） ・県産米や米麴等を使った新商品の開発・販売 ⇒季節限定品の販売 <p>◆積極的な地産外商の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジャパン・グレートビア・アワーズ 2019」金賞受賞（「和醸ケルシュ」）（H30） ・第33回高知県地場産大賞・奨励賞受賞（H30） ・「モンベル アウトドアヴィレッジ本山ビジターセンター」 「スノーピークかわの駅おち」等での販売開始（R元～） ・インターナショナルビアカップ（IBC）で銀賞受賞（「こめホワイトール」）（R元.） <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業振興アドバイザーからの助言をもとに作成した「増産体制計画」に基づく設備投資計画の策定 ・製品管理システムの導入及び県版 HACCP 認証取得 ・商品力の向上及びブランドの確立

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆生産体制の構築	設備投資計画の策定 ●(同)高知カンパニーグループ：設備投資計画の策定 ●香美市商工会：計画への助言		設備投資、増産体制の確立 ●(同)高知カンパニーグループ：生産工程の見直し、新たな工場の建設を検討 ●香美市商工会：設備投資計画等に係る助言 ●県（地域本部等）：活用可能な支援策に係る情報提供		
			雇用の創出 ●(同)高知カンパニーグループ：専門機関（高知県移住促進・人材確保センター、ハローワーク等）と連携した労働力の確保 ●県（高知県移住促進・人材確保センター、地域本部等）：活用可能な支援策の情報提供		
◆積極的な地産外商の推進	戦略的なPR、フェアやイベントへの積極的な出店、ブランドの確立 ●(同)高知カンパニーグループ：商品コンセプトに合致したイベント等への積極的な出店 販路開拓に向けた営業および戦略的な情報発信 ●香美市商工会：販路開拓に向けた仕組みづくり等の支援 ●香美市：ふるさと納税・謝礼品への認定等、地産外商の取り組みを支援				
	新たな商品開発 ●(同)高知カンパニーグループ：季節感のある食材を活用した商品の開発、話題創出 ●県（地域本部）：アンテナショップ「まるごと高知」を活用したテストマーケティング等の支援				
	県版HACCPの認証取得 ●(同)高知カンパニーグループ：第2ステージ、第3ステージの認証取得				
◆地元商店街のにぎわい創出	地元イベントへの出店、商店街との連携 ●(同)高知カンパニーグループ：地元イベント（「香美バル」「刃物まつり」等）への出店 ●香美市商工会：イベント等の情報提供				
	地元食材を活用したご当地グルメの検討 ●(同)高知カンパニーグループ：地元食材生産者、飲食店とのコラボを検討				

AP名 (実施地域)	No.20 物部川地域における広域観光の推進 (物部川地域全域)
実施主体	◎(一社)物部川DMO協議会、南国市、香南市、香美市、(一社)南国市観光協会、(一社)香南市観光協会、(一社)香美市観光協会、(株)ものべみらい、観光事業者
APへの位置づけ	H24.4月
事業概要	物部川地域の自然、観光施設、体験メニュー等の多様な観光資源を広域的に組み合わせ、魅力的な観光商品とするとともに、民間事業者の視点も踏まえて地域の観光資源を一層磨き上げ、情報発信を行うことにより、観光客の広域的な誘致を推進し、交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
主要観光施設入込数 (9施設)	70.7万人						89.8万人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1回「ものべかわフェスタ」の開催 (H27.9月) (主催：物部川地域3市の関係機関による実行委員会) 「高知県における観光による地域活性化に関する連携協定」締結 (県、(株)四国銀行、(株)地域経済活性化支援機構) ⇒「高知県観光活性化ファンド」設立 (H27.10月) 物部川地域をDMO構築のパイロット地域に選定 「物部川地域観光基本計画」の策定 (H28.3月) (県、(株)四国銀行、REVIC、南国市、香南市、香美市) 「物部川DMO協議会」が発足 (H28.6月) 協定に基づきファンド資金とREVIC人材によりDMO構築の司令塔役として(株)ものべみらい設立 (H28.8月) ・物部川DMO協議会が事務局職員を採用・配置し、各事業の運営開始 (H29.6月) 物部川DMO協議会の一般社団法人化 (H31.3月) ⇒第3種旅行業取得 (R2.2月予定) <p>◆観光商品の充実・観光客の広域誘致</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア内観光素材の調査、体験プログラム素材の掘り起こし 協議会公式HP及びSNSの構築 (H28) ミキハウスウェルカムファミリー観光地エリアの認定 (H29) ビッグデータ活用による観光動態調査の実施 (H29~30) お客様ニーズに沿った商品企画・販売実施 (H30~) ファミリー層向け広域観光パンフレット「とりせつ」の作成(H29)及び多言語化 (R元) 	<ul style="list-style-type: none"> 商談会等で旅行会社へセールス(H29:4回 H30:17回) <p>◆地域連携による周遊促進</p> <ul style="list-style-type: none"> 連携企画イベントの開催 (H28:「おさかなクリスマス in 高知ものべかわ」、H29~ (年1回)「ものべかわフェスタ」) <p>◆物部川地域の観光に携わる人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> エリア内事業者向け研修・モニターツアーの実施 (H30~) 高知大地域協働学部との協働により旅行商品の造成及び販売の実施 (R2.1月) <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆DMO協議会の一般社団法人化等によるガバナンスの強化 ⇒広域観光組織の位置づけ(地域のセールス役)の明確化 3市の官民による「観光地域づくり」の連携体制の構築 ◆物部川フェスタ来場者数 H27 : 3,000人 → R元 : 6,000人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・物部川地域3市の行政機関、関係機関が役割分担し共同することによる持続的広域観光推進のための地域体制強化 ・周遊促進のための旅行商品の造成・販売 (旅行業の活用) ・物部川エリアのブランド化 <p>※主要9観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地、県立歴史民俗資料館 (南国市)、県立のいち動物公園、創造広場「アクトランド」、絵金蔵 (香南市)、やなせたかし記念館、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート (香美市)

第4期計画における工程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆広域観光組織の体制強化と関係団体との連携強化	物部川 DMO 協議会の組織体制の強化				
	物部川広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：日本版 DMO 登録に向けた取り組みの推進、日本版 DMO 登録、マーケティング機能強化 		<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会、(株)ものべみらい：マーケティング調査の分析に基づく広域観光振興中期計画の更新及び誘客戦略の立案・実施 		
◆観光商品の充実・観光客の広域誘致	各市における観光商品の充実				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：物部川地域を対象とした新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 3市観光協会が行う観光商品づくり等への支援 ●3市観光協会：関係団体や事業者等との連携による新たな観光資源（体験メニュー等）の発掘・磨き上げ 土佐の観光創生塾等を通じた商品づくり 				
	圏域における旅行商品の企画造成				
◆地域連携による周遊促進	戦略的なセールス・PR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：ターゲット層及びエリアに即した旅行エージェントセールスの実施 ・ターゲット層への訴求力のある媒体を活用したエリア情報発信の実施 ・広域観光パンフレットや HP、SNS 等を活用したエリア情報発信の実施 				
	連携企画等の実施				
◆物部川地域の観光に携わる人材の育成	連携企画等の実施				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：圏域一体での観光地づくりの意識醸成と圏域内への周遊促進を図るため、地域内の関係者連携によるイベント（ものべかわフェスタ）等を企画・実施 				
	物部川地域の観光関係者の人材育成				
<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)物部川 DMO 協議会：広域観光推進のための知見の拡大・共有を目的とし、先進地視察や圏域内の観光情報共有のためのエリア内研修の実施 ●県（地域観光課、地域本部等）：県等が実施する研修の情報提供 					
<p>【用語】日本版 DMO:地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立った観光地づくりの舵取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地づくりを実現するための戦略を策定するとともに、戦略を着実に実施するための調整機能を備えた法人</p>					

AP名 (実施地域)	No.21 南国市の地域資源を活用した観光の推進 (南国市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連 (南国市農業クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)南国市観光協会、南国市、南国市観光クラスター連絡協議会、市内各観光に関わる企業・団体・グループ
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	地域が誇る史跡資源(長宗我部等)を活用したイベント・ツアーへの参加をきっかけとして、周辺の観光名所・施設への来訪など市内観光を推進するとともに、(仮称)ものづくりサポートセンターの開業(R3.3月予定)にあわせ、県外客の誘致に繋げる。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
主要観光施設入込数	46.9万人 (3施設)					55.0万人 (4施設)	

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長宗我部元親ラリーの実施 (H22～) ・長宗我部フェスの開催 (H22～) ・岡豊山さくらまつり・土佐の食1グランプリの開催 (H22～) ・移動販売車(キッチンカー)を導入による南国市観光のPR(南国市観光クラスター連絡協議会) (H29) ・女性をメインターゲットにした周遊マップの作成 (H29) →H29 高知県歴史観光資源等強化事業費補助金の活用(事業費 454.4万円) <p>◆観光協会の体制強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光コーディネート組織の設立・運営 (H21～23) ・観光ガイド組織「南国市観光案内人の会」の設立 (H23) ・南国市観光協会に専任スタッフを配置 (H24～) ・南国市観光協会の一般社団法人化 (H25) ・南国市観光クラスター連絡協議会の設立 (H28) ・周辺の観光施設・史跡・店舗等の紹介と経路、交通手段、所要時間等を分かりやすく表示したパネル、ポスター及びパンフレットの作成、配布や、市内中心部を案内できるボランティアガイドの養成 (H28) →H28 高知県歴史観光資源等強化事業費補助金の活用(事業費 110.2万円) 	<p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆主要観光施設入込数のうち、歴史文化施設(県立歴史民俗資料館)入館者数 H30: 2.5万人 ◆南国市観光案内人の会(ガイド)の利用者数 H28: 264人 → H30: 327人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源および長宗我部元親ラリー、長宗我部フェスなどの既存の取り組み(イベント)の魅力を高める。 ・観光協会の体制強化 <p>※主要3観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西島園芸団地、県立歴史民俗資料館、道の駅南国風良里 ・(仮称)ものづくりサポートセンターを追加 (R3.3月オープン後)

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆観光の推進	観光メニューづくり、既存メニューのブラッシュアップ				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)南国市観光協会、南国市、市内各観光に関わる企業・団体・グループ： 既存の観光メニュー、イベントのブラッシュアップや、新たなメニューづくり、周遊ルートを提案・実施 ●県（地域本部等）： 物産街川地域全体としての観光を促進するため、必要に応じて関係機関等への橋渡し 				
◆観光協会の体制強化	SNS やメディア等のツールを有効活用した情報発信、プロモーション活動				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)南国市観光協会： 観光パンフレットの発行、SNS 等での情報提供、旅行雑誌等への売り込みの実施 ●事業者： 移動販売車（キッチンカー）を用いた、観光・特産品のPR ●県（地域本部等）： 広報の協力（広報広聴課 Twitter などへの投稿）等 				
<p>【用語】 SNS：「Social Networking Service」の略。インターネットを通じて個人間の幅広いコミュニケーションを支援するサービスのこと。 代表的な SNS としては、Facebook などがある。</p>					

AP名 (実施地域)	No.22 香南市におけるスポーツ・体験観光等の取り組みの推進 (香南市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連 (日本一の二産地拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)香南市観光協会、香南市、地域の体験メニュー等提供団体
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	香南市の海と山と文化や歴史などの地域観光資源を活用したスポーツ・体験観光を推進するとともに、様々な観光スポット等と連携した周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口の拡大を図る。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
(1) 主要観光施設 入込数 (10施設)	106.0万人						117.0万人
(2) 参加人数 (スポーツ・体験観光)	181人						960人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体験観光等に関する情報の一元把握</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社)香南市観光協会による旅行商品化に必要な香南市内の観光情報の一元把握を開始 (H21～) <p>◆旅行商品の造成と販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香南市観光協会の一般社団法人化及び旅行業第3種の登録 (H22) : 旅行商品の企画から販売までの体制の整備 ⇒土佐塩の道ウォーキング、トレイルランニングレース大会、サンセットシーカヤックツアーなどの企画販売の実施 <p>◆地域の観光情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎によるまちおこしの情報発信、体験メニューの開発、ワークショップの開催 (H27～) ・地元団体によるウォーキング、トレイルランニング、マリンスポーツやサイクリングイベントの開催に際しての情報発信 (随時) ・香南二塩焼そばなど、地域の特産品を活用したメニューや飲食店等の情報発信 (随時) <p>◆スポーツ・体験観光の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクル事業の強化、サイクルイベント等の実施 (H30～) ⇒自転車を活用したまちづくりを推進する全国市区町村長の会 四国ブロック会議の実施 (R元.9月) 	<p><主な成果></p> <p>◆主要7施設の観光客入込数</p> <p>H26 : 51.8万人 ⇒ H30 : 64.7万人 うち歴史文化施設 (絵金蔵・アクトランド) : 11万人</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>〔対象 : 7施設 県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク 絵金蔵、弁天座、創造広場「アクトランド」 香南市サイクリングターミナル〕</p> </div> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行商品の継続的な企画・販売 ・体験メニュー等、地域の観光素材を活用した観光商品の開発 ・エーเจントに対する効率的かつ効果的なプロモーション ・地元団体の高齢化等による人材不足 <p>※主要10観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立のいち動物公園、月見山こどもの森、ヤ・シィパーク、絵金蔵、天然色市場、やすらぎ市、あぐりのさと、黒潮温泉、創造広場「アクトランド」、土佐カントリークラブ

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆旅行商品の造成と販売	<p>旅行商品の造成と販売の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会： コースプラン作成と販売、旅行代理店への売り込み、旅行商品化に必要な観光情報の一元把握 ●香南市： 観光に関係する香南市内の状況等についての情報共有 ●県（地域本部等）： 支援策の提供 				
◆地域の観光情報の発信	<p>インターネット、SNS 等を活用した PR の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会： ホームページ、SNS、OTA 等を活用した情報発信 香南二郎塩焼きそば等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ●地域の体験メニュー等提供団体： 二郎等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ●香南市： 市ポータルサイト等での情報発信への協力、関係機関等への橋渡し、調整 ●県（地域本部等）： 県 Twitter 等への投稿 				
◆スポーツ・体験観光の推進	<p>サイクリストの誘致、サイクルツーリズムの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香南市観光協会： サイクルイベントの PR、宿泊施設等と連携した旅行商品化 ●香南市： レンタサイクルの実施、各種サイクルイベントの主催及び支援 ●県（地域本部等）： 誘致に関する支援策等の提供 <p>サイクリングロードの整備、サイクリストのための環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●香南市： 国と連動した基盤整備、ブルーラインの設置等 サイクルオアシス導入の推進、サイクリングターミナルの活用・再整備の検討 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供 				
<p>【用語】 OTA：インターネット上で取り扱われる旅行会社のこと。Online Travel Agent の略。店舗営業を行う旅行会社のオンライン販売は OTA とは呼ばない。国内外の宿泊や航空券などの手配旅行、宿泊と航空券をセットにしたダイナミックパッケージ、施設とお客様が直接契約する宿泊仲介、旅行保険などを取り扱うことが多い。</p>					

AP名 (実施地域)	No.23 三宝山エリアにおける観光拠点化の推進 (香南市)
実施主体	◎民間事業者、香南市
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	香南市のシンボルである三宝山を核として、近隣の観光施設等と連携しながら、様々な楽しみ方ができる体験観光エリアを作り出すことにより観光客を呼び込み、交流人口の拡大を目指す。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
- (※)	-						-

※検討状況を踏まえて設定

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャトー三宝の耐震診断の実施 (H28) ・基本計画の再試算により、整備費用・維持運営費が当初試算を大幅に上回ることが判明 (3.5億→6.5億) (H30) ⇒三宝山エリアを一体的に開発することで採算性・持続性を確保する計画に転換 ・民間事業者による新たな事業構想の策定 (H30) ・事業者と香南市、県による、開発に伴う土地やインフラ整備等についての協議の実施 (R元～) <p>◆周辺施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営事業候補者を公募のうえ決定 (5事業者) (H29) ・香南市三宝山観光拠点化基本計画検討委員会を開催し、基本計画を策定 (H29) ・香南市三宝山エリア広域連携ビジョン検討委員会の開催 (H30) ⇒採算性と継続性の担保が困難と判断し、公募した運営事業候補者の事業参入を白紙化 <p><主な成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宝山エリア活性化に向けた意識の醸成 ・事業に参画する主要な事業者の確定 (H30) ・現在三宝山山頂エリアの開発に取り組んでいる民間事業者が、全体計画の策定中 	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・三宝山一帯の持続可能な観光拠点化 ・山頂での一体的な事業展開が可能な事業者との交渉及びその他の事業者との調整 ・物部川地域の他の観光関係事業者との連携、協働に向けた仕組みづくり ・民間事業者と県、市とのスケジュールの共有

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆施設整備					
	<ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者： <ul style="list-style-type: none"> 山頂エリアの開発計画の策定と計画に沿った工事等の実施 周辺地元への周知 行政（市・県）との協議 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 各種支援制度に関する情報提供 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との橋渡し、支援制度についての情報提供 				
◆周辺施設との連携					
	<ul style="list-style-type: none"> ●民間事業者： <ul style="list-style-type: none"> 周辺施設と連携した取り組みの実施 ●香南市： <ul style="list-style-type: none"> 既存施設間での協力体制の構築についての支援 ●県（地域本部等）： <ul style="list-style-type: none"> 関係機関との橋渡し、支援制度についての情報提供 				

AP名 (実施地域)	No.24 香美市における滞在型・体験型観光の推進 (香美市) ※地域産業クラスタープロジェクト関連 (日本一の二産地拡大クラスタープロジェクト)
実施主体	◎(一社)香美市観光協会、香美市、(株)香北ふるさとみらい、地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体
APへの位置づけ	H28.4月
事業概要	香美市の地域資源を活かした体験型観光メニューを充実させるとともに、主要な観光施設を核とした周遊プランの造成・情報発信を行うことにより、地域外からの交流人口増を図り、滞在型・体験型観光を推進する。

指標	出発点	実績					目標
	H30	R2	R3	R4	R5	R5	
主要観光施設入込数 (4施設)	28.5万人						30.0万人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土佐塩の道の基盤整備およびP Rツール等制作 (H28~29、地域づくり支援事業費補助金の活用) ・ほとと平山B B Qサイト新設等事業 (H29、地域づくり支援事業費補助金の活用) ・べふ峡温泉・宿泊棟の改修工事 (H30~R元) <p>◆観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会のHPやfacebook、広報誌を活用した情報発信 ・イベント「香美バル」「歌で巡る土佐山田史跡うおーく」等の開催 ・アンパンマンミュージアム周辺へのWi-fi等の整備 ⇒国際観光受入観光整備事業費補助金を活用 (H28:118.2万円) <p>◆香北エリアを中心とした観光活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートの改修 (H29、観光拠点等整備事業費補助金の活用) <p><主な成果></p> <p>◆体験型観光メニューづくりと推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要3観光施設(アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉)の入込客数 H28:262,610人 ⇒ H30:245,213人 (H30.7月にオープンしたザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートを加え、4施設で入込客数を調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「土佐塩の道トレイルランニングレース」参加者 H28:237人 → R元:291人 ・「土佐塩の道30kmうおーく」参加者 H28:65人 → H30:104人 ・観光資源の磨き上げおよび発掘事業 「歴史・史跡に関する委員会」「宿泊・交通に関する委員会」の立ち上げ (H30) および委員会の開催 <p>◆香北エリアを中心とした観光活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾートは大手旅行会社の宿泊予約サイトで高評価を得る等し、宿泊客が増加 (ホテル利用者数) H27:9,792人 → H30:14,381人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験観光メニューの受入体制や窓口機能の強化 ・香美市観光協会とDMO協議会が連携し、新規イベントやツアーの定期的な開催、戦略的なPRの実施に繋げていく ・べふ峡温泉のバンガローエリア跡地の利活用策を検討する <p>※主要4観光施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンパンマンミュージアム、龍河洞、べふ峡温泉、ザ・シックスダイアリーかほくホテルアンドリゾート

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆体験型観光メニューづくりと推進	観光資源の磨き上げおよび発掘、体験型観光メニューの造成				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会： 「歴史・史跡に関する委員会」「宿泊・交通に関する委員会」で造成した体験型観光メニューの磨き上げ (「ノルディック・ウォーキング体験会」、「巨木銘木、パワースポットめぐり」等) ●地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体：観光協会との連携強化 				
	受入体制や窓口機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会： ガイドの育成、パンフレットの多言語化 地域内の観光施設及び体験型観光メニュー等の提供団体との連携 ●香美市：観光案内所「香美市いんふおめーしょん」の機能強化 ●県(地域本部、観光振興部)：ガイド育成等支援策の情報提供 				
	バンガロー跡地 利活用策の検討 <ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会：誘客に繋がる活用計画の策定 				
◆観光協会の組織体制の充実と取り組みの推進	観光イベントの企画・実施、セールス活動、情報発信				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(一社)香美市観光協会： 観光イベントの開催 周辺観光施設と連携したセールス活動の実施 HPや広報誌を活用した情報発信 ニラ等の地域の特産品やグルメ情報の発信 ●地域の体験メニュー等提供団体： ニラ等の地域の特産品を活用したメニュー開発及び提供 ●県(地域本部、観光振興部)： 高知県観光キャンペーン等と連動した情報発信 				
◆香北エリアを中心とした観光活性化	周辺施設や地域との連携体制の構築				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)香北ふるさとみらい： 香北周辺の観光施設との連携強化 地域資源を活用した体験プログラムの造成、メニュー化 				

AP名 (実施地域)	No.25 龍河洞エリアにおける地域の活性化の推進 (香美市)
実施主体	◎(公財)龍河洞保存会、◎(株)龍河洞みらい、龍河洞エリア活性化協議会、香美市
APへの位置づけ	H29.9月
事業概要	H29.11月に龍河洞エリア活性化協議会が策定した「龍河洞エリア活性化基本計画」に基づき、関係機関が連携し、エリア全体の誘客促進に向けた取り組みを推進していく。

指標	出発点	実績					目標
	R元	R2	R3	R4	R5	R5	
観光客入込客数	12.6万人						20.0万人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆「龍河洞エリア活性化協議会」の設立</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化協議会の開催 (H29: 11回、H30: 7回、R元: 5回予定) 龍河洞エリア活性化協議会部会・分科会・チーム会・有識者による勉強会等の開催 (H29: 6回、H30: 9回) <p>◆基本計画の策定・推進及び施設等の改修</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化基本計画の策定 (H29.11月) 観光拠点等整備事業費補助金の活用による施設整備 (H30) 龍河洞エリア活性化推進事業 (事業費: 8,951.5万円) ⇒観光洞内の安全性・利便性の向上対策の実施 (洞内Wi-Fi整備、出口休憩所の改修等) 龍河洞洞内コンテンツ整備事業 (事業費: 6,390万円) ⇒洞内演出照明、音響、プロジェクションマッピングの整備 龍河洞エリア動線・景観等整備計画の策定 (事業費: 447.6万円) 「新・龍河洞」グランドオープン (R元.7月) <p>◆広報、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> 旅行会社、ホテルへのセールス活動の実施 新聞、テレビ、雑誌、地元情報誌を活用した情報発信 <p>◆集客イベントの開催</p> <ul style="list-style-type: none"> シーズンイベントの開催 (H30: 6回、R元: 6回) 既存イベントの磨き上げ (龍河洞まつり、キャンドルナイト等) 	<p><主な成果></p> <p>◆観光客入込数</p> <ul style="list-style-type: none"> 冒険コース体験者数 H30: 2,655人 ⇒ R元: 3,130人 集客イベントの開催を通じた入込数の確保 夜間営業の入洞者数 H30: 1,386人 ⇒ R元: 5,050人 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画に基づく施設整備の実施 さらなる入洞者数の増に向けた集客イベント、セールス、広報・PRの実施・強化 文化財(史跡・天然記念物)としての龍河洞の保全・活用

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆基本計画の策定・推進及び施設等の改修	龍河洞エリア活性化基本計画、龍河洞エリア動線・景観等整備計画の精査及び具体化				
	<ul style="list-style-type: none"> ●龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や整備の優先順位、費用対効果について協議 ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：実施主体、運営体制について精査及び実現可能性の検討 ●香美市、県（観光振興部、地域本部等）：予算化に向けた課題整理、計画の進捗管理 				
	駐車場動線整理 通路安全対策	エリア内の他の施設の改修			
	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：改修の実施 ●香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：予算化をもとにした改修の実施（博物館、珍鳥センター等） ●龍河洞エリア活性化協議会：各施設の機能や改修の必要性、優先順位について協議 ●香美市、県（地域本部等）：補助金の予算化及び各種活用可能な支援制度に係る情報提供 			
	老朽化した施設の除却 除却後の活用計画の策定	除却後のスペースの有効活用			
	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：除却後の活用計画および事業主体の検討 香美市予算化後の除却の実施 ●香美市：除却費等を予算化 ●県（地域本部等）：除却に向けた支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：予算化をもとにした施設整備及び運営 ●香美市、県（地域本部等）：補助金の予算化の検討 各種活用可能な支援制度に係る情報提供 			
更衣室の改修	西本洞コースの開設・運営				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：改修の実施 ●香美市、県（地域本部等）：補助金申請等への支援及び進捗管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会：西本洞コースの運営（ガイドの人材育成等） ●(株)龍河洞みらい：西本洞コースを素材とした広報・セールスの実施 				
◆広報、PR	インバウンドを見据えたセールス、ターゲティングとポジショニング分析を踏まえたPRの実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(公財)龍河洞保存会、(株)龍河洞みらい：台湾を中心とする東アジアへのセールスの強化 ●(株)龍河洞みらい：新聞やテレビ、雑誌、地元情報誌等への情報発信、県内や中四国、近畿圏を中心としたPRの実施 					
◆集客イベントの開催	シーズンイベント（G.W、夏休み、ハロウィン、クリスマス等）、夜間営業の実施				
<ul style="list-style-type: none"> ●(株)龍河洞みらい：イベントの企画・運営、集客に向けた広報・セールスの強化 					